平成 27 年度 修士論文

公立文化ホールの設置目的による類型と 建築・運営の実態

指導教員 大月 淳 准教授

三重大学大学院工学研究科 建築学専攻



鈴木 友紀子

1-1. 研究の背景と目的	
1-2. 研究の方法	
1-2-1. 研究の流れ	
1-2-2. 分析対象施設と設置条例	
第2章 設置目的の整理、類型化	p.10
2-1. 分析対象の抽出	
2-2. 設置目的の整理の方法	
2-3. 対象指示語句の整理	
2-3-1. 対象指示語句の抽出	
2-3-2. 対象指示語句の区分	
2-3-3. 対象指示中核語句の類型化	
2-3-3-1. 「芸術」型	
2-3-3-2. 「学術教育」型	
2-3-3-3. 「交流」型	
2-3-3-4. 「集会その他活動」型	
2-4. 作用指示語句の整理	
2-4-1. 作用指示語句の抽出	
2-4-2. 作用指示語句の区分・類型化	
2-5. 設置目的の類型化	
2-5-1. 基盤類型	
2-5-2. 目的指示語句	
2-5-3. 設置目的の類型化	
第3章 類型の経年変化	p.36
3-1. 施設条例の制定年代別分布	
3-2. 目的数別施設数の経年変化	

3-3. 類型別施設数の経年変化

第1章 序章 p.4

第4章 施設類型と建築の実態	p.41
4-1. 分析方法	
4-2. 類型と施設機能	
4-3. 複数目的型施設と施設機能	
4-3-1. 施設機能数の経年変化	
4-3-2. 目的数と施設機能数	
4-4. 複数目的型施設と複合	
4-4-1. 複合施設と併設、同居施設	
4-4-2. 複数目的型施設と複合の関係の概況	
4-4-3. 併設施設数の経年変化	
4-4-4. 目的数と併設施設数	
第5章 施設類型と運営の実態	p.56
5-1. 分析方法	
5-2. 管理運営主体の種別	
5-3. 計画性	
5-4. 事業	
第6音 総括	p.69

第1章 序章

1-1. 研究の背景と目的

1-2. 研究の方法

1-2-1. 研究の流れ

1-2-2. 分析対象施設と設置条例

1-1. 研究の背景と目的

日本において舞台芸術(実演芸術)のための施設としては劇場、ホールが想起される。 講演会や集会を主たる目的とする公会堂に始まり、戦後様々な展開を経て現在に至るまで 様々なタイプの舞台芸術施設が設置されてきた。

同じ文化施設に括ることの出来る美術館について博物館法という根拠法が存在し、その 目的を筆頭に施設の総体としてのあり方が比較的明確である。それに対し、明確な法的根 拠を持たない劇場、ホール等については、そのあり方、つまり、「劇場、ホール等とは何 か」、より具体的には「劇場、ホール等とは何を目的とする施設か」が明瞭ではない。

近年「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」(以下「劇場法」)^{注1)}が施行され、さらなる展開が期待されるが、そうした舞台芸術施設の総体を捉えようとする際の不明瞭さは解消されるものではない。

そうした、舞台芸術施設、それも公立の「公立文化ホール」について個別にみた場合には、施設設置に伴い制定される設置条例が存在する。その中に施設の設置目的が示されている。「公立文化ホール」^{注2)} の総体は、個別の施設の累積として捉えられる。

そこで、本研究は「公立文化ホール」についてその個別の設置条例に示される設置目的 を取り出し、それらを束ね、類型化することを通して、その総体としてのあり方を明らか にすることを目的とする。

[注釈]

- 注1) 『劇場、音楽堂等の活性化に関する法律』(2012年6月27日公布)
- 注 2) 平成 20 年度文部科学省科学研究補助金によって実施された、全国の公立文化ホールに対する郵送式の調査票調査「公立文化ホールの配置、建築、運用に関する調査」の中で示されている「公立文化ホール」の定義。

1-2. 研究の方法

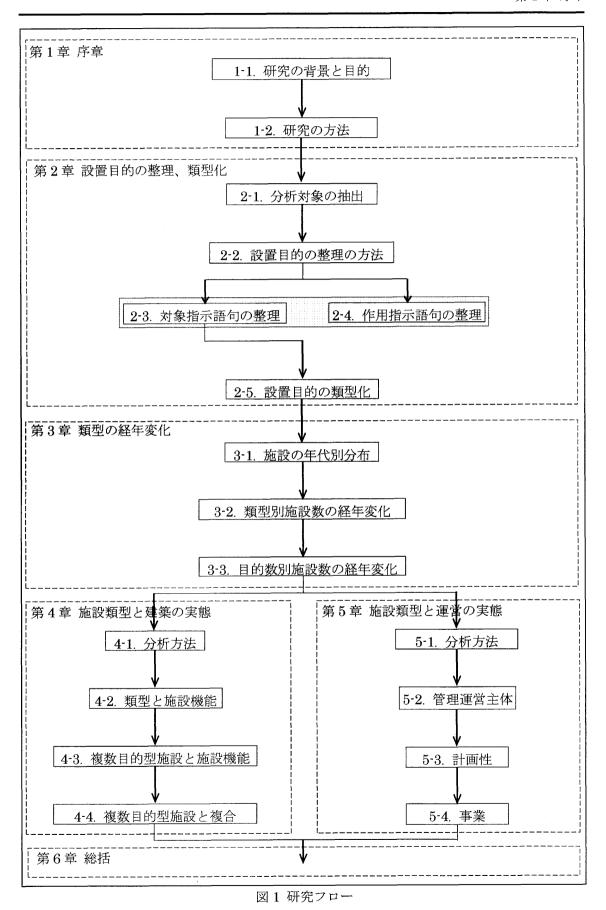
1-2-1. 研究の流れ

本研究における「公立文化ホール」の定義は平成 20 年度文部科学省科学研究補助金による「少子高齢化時代の公立文化ホールの配置、建築、運用計画の再構築に関する研究」 注3) に従うものとし、併せて、そこでの調査票調査「公立文化ホールの配置、建築、運用に関する調査」におけるものであり、そこでのデータを参照できるよう分析対象を抽出する。

分析対象について、2章で個別施設の設置目的の整理、類型化を行い、得られた類型について、3章で経年変化、4章、5章でそれぞれ建築の実態、運営の実態との比較分析を行い、6章で総括する(図1)。

[注釈]

注3) 文部科学省科学研究補助金(基盤研究(B))「少子高齢化時代の公立文化ホールの配置、建築、運用計画の再構築に関する研究」20008~2011, 研究代表者:清水裕之



m

1-2-2. 分析対象施設と設置条例

前述の通り、本研究は既往研究の調査票調査で得られたデータを参照するため、そこで 対象としている施設から分析対象を抽出する。

同調査において 2782 施設に調査票を送付しており、そのうちの 1341 施設についての返信が確認された。それらの施設内容を改めて精査したところ、体育施設や公民館などの「公立文化ホール」に該当しない施設と、設置目的が確認出来ない施設が 430 施設(表1) 含まれていたため、それらを研究対象外施設として除外し、研究対象 911 施設を得た。ただし、2 章の類型化における必要性からそこから 5 施設を除く (2-1.で記述) ので、実質的な分析対象施設は 906 である(図 2)。

なお、既述の調査票返信施設 1341 に対してと同様の精査を調査票未返信施設 1441 についても行っており、結果 308 の施設が研究対象外施設としてそこから除外された。したがって、そこに残った 1133 施設と 911 施設を合わせた 2044 施設が調査票送付施設 2782 のうち、公立文化ホールに該当すると考えられる施設、すなわち、本研究における本来の母集団であり、その数は 2044 となる。

実質的な分析対象 906 施設が抽出され、個別の設置条例をみていくことになるが、公立 文化ホールの条例は施設設置時に制定されるのが一般的であるが、そうでないものもあ り、また、改正も行われる。本研究においては、2015 年 10 月~12 月に得られた最新の各 施設の条例を分析対象とする。

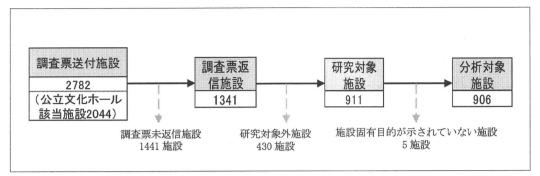


図2 分析対象施設選定フロー

表 1 研究対象外施設内訳

	我 I 动力 对			
	生涯学習施設	46		
	教育会館	5		
	コミュニティセンター	20		
	公民館	38		
	体育施設	19		
	厚生年金会館	3		
	国営施設	2		
	美術館	4		
	ミュージアム	1		
	ギャラリー	2		
e e	博物館	5		
	図書館	3		
	産業会館	12		
除外施設	観光会館	5	374	
	勤労者福祉施設	44		430
	男女共同参画センター	5		430
	女性センター	6		
	婦人会館	1		
	コンベンションセンター	4		
	能楽堂	3		
	芝居小屋	2		
	教育機関(高校、大学)内施設	7		
	野外	6		
	児童会館・こども劇場等	10		
	青少年教育施設	5		
	その他	49		
	条件2に当てはまらない	67		
設置条例・目的の	設置条例が無い	49		
改直栄例・日的の	設置目的が無い	4	56	
1	その他	3		

第2章 設置目的の整理、類型化

- 2-1. 分析対象の抽出
- 2-2. 設置目的の整理の方法
- 2-3. 対象指示語句の整理
 - 2-3-1. 対象指示語句の抽出
 - 2-3-2. 対象指示語句の区分
 - 2-3-3. 類型対象語句の類型化
 - 2-3-3-1. 「芸術」型
 - 2-3-3-2. 「学術教育」型
 - 2-3-3-3. 「交流」型
 - 2-3-3-4. 「集会その他活動」型
- 2-4. 作用指示語句の整理
 - 2-4-1. 作用指示語句の抽出
 - 2-4-2. 作用指示語句の区分・整理
- 2-5. 設置目的の類型化
 - 2-5-1. 基盤類型
 - 2-5-2. 目的指示語句
 - 2-5-3. 設置目的の類型化

2-1. 分析対象の抽出

ここでは分析対象を抽出する。

施設の設置条例における設置目的の条文の書式には2つのタイプがある。

1つ目が一般的な「~のため、(施設名)を設置する」というもので、図3の①がそれにあたる。

もう1つは地方自治法第244条を引用するものであり、図3の②の例がそれにあたる。 地方自治法第244条は「公の施設」一般に関する条項であり、したがってこのタイプについては、施設固有の目的が示されない例外的なものといえる。

研究対象 911 施設から 5 施設を除き、分析対象を 906 施設としたことを 1-2-2. に示したが、その 5 施設はこの 2 つ目のタイプに該当するものである。

①基本的な書き方

例 1) 旭川市民文化会館

「本市は、市民の<u>文化及び教養の向上</u>を図るため、旭川市民文化会館(以下「会館」という。)を設置する。」

例 2) 仙台市広瀬文化センター

「市民に<u>地域活動と文化活動の場を提供</u>し、もって市民の<u>交流の促進と地域文化の振興</u>に資するため、文化センター(以下「センター」という。)を設置する。」

②地方自治法第244条のみを示す書き方

例) 甘楽町文化会館

「この条例は、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 244 条の 2 第 1 項の規定に基づき、甘楽町文化会館の設置及び管理運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。」

図3 設置目的の整理

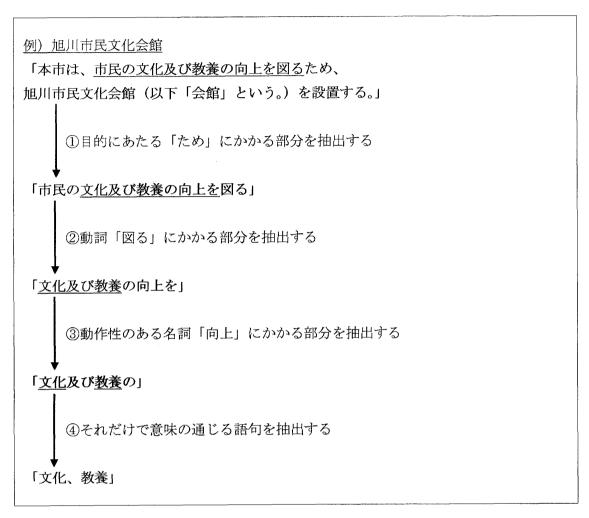


図 4 対象指示語句の抽出方法

2-2. 設置目的の整理の方法

設置目的の文章構成は前述の通り「~のため、(施設名)を設置する。」となっており、本研究では目的について記述されているその前半部分(「~のため」の部分)に着目する。

当該部分には〈対象〉とそれに対する〈作用〉を示す語句が含まれる。省略に伴う意味の欠損のない範囲で、それぞれから修飾語句を除いた上で、可能な限り語句を分割し抽出する。そうして得られた〈対象〉、〈作用〉を示す語句それぞれを「対象指示語句」、「作用指示語句」と呼ぶこととする。対象指示語句が名詞および名詞句、作用指示語句が動詞および動詞句として明確に区分される場合が基本となるが、そうでない場合には個別に定めたルールに従い語句の抽出を行う。

例えば、図3の①の例2)の「地域活動と文化活動の場を提供し」の部分では、「地域活動の」と「文化活動の」の双方が「場」を修飾しており、このような場合には「地域活動の場」と「文化活動の場」のように対象指示語句を抽出する。

また、図3の①の例1)のような場合、原則的には対象指示語句として「文化及び教養の向上」、作用指示語句として「図る」を抽出することになる。しかし、その際、対象指示語句の中心が動詞性名詞「向上」となり、錯綜した状況が生じる。このような場合には動詞性名詞の方により具体的な作用の意味が示されているとして、それを語幹としてそこに「する」を付加し、作用指示語句として抽出する。同例の場合、作用指示語句は「向上する」となり、対象指示語句の「文化」と「教養」と併せて抽出されることになる。

2-3. 対象指示語句の整理

2-3-1. 対象指示語句の抽出

分析対象である 906 施設の条例から 518 の対象指示語句が抽出された (表 2~5)。 特に上位 4 つの語句が設置目的において多く使われている。最も多いのは「文化」で 906 施設中 441 (48.7%)、次いで「福祉」の 350 (38.6%)、「芸術文化」の 168 (18.5%)、 「教養」の 115 (12.7%) と続く。

主 9	対象指示語句別施設数	(No 1~120)	
10 %	VI 32 15 71 55 11 11 11 15 27 27	$(100 1 \sim 150)$	

	表 2 対象指示			数(No.1~130)	
No		施設数		h hu - bri - ht - 100 A	施設数
	文化	441		演劇の鑑賞の機会	4
	福祉	351		舞踊	4
	芸術文化	168	68	<u>L</u>	4
	教養	115		集会等	4
	市民文化	54		文化活動の用	3
6	芸術	54		文化的な催物等の用	3
	市民福祉	47		区民文化	3
8	教育	43		文化的な生活	3
	文化活動	39		芸術文化活動の場	3
_	生涯学習	38		美術の創造の機会	3
	地域文化	34	76	美術の発表の機会	3
	交流	32		舞台芸術活動	3
13	生活文化	31		音楽芸術	3
	生活	30		歌劇	3
15	文化教養	29		音楽の創造の機会	3
	市民生活	25		音楽の発表の機会	3
17	文化活動の場	23		演劇の創造の機会	3
	地域社会	23	83	演劇の発表の機会	3
	芸術文化活動	22	84	学術文化	3
	社会福祉	21		文化的教養	3
	健康	20		生涯教育	3
22	産業	20		学習活動	3
	住民福祉	19		研修の場	3
	社会教育	18		人材	3
	地域	18		地域間交流	3
	文化芸術	16		ふれあいの場	3
	交流の場	14		連帯感	3
	教育文化	13		自主的活動	3
20	数目又に コミュニティ活動	13		その他各種行事	3
		13		町民福祉	3
	その他各種行事の用	12		区民福祉	3
	芸術活動			心豊かで活力あるまち	3
	行事の用	12			3
	学術	11		<u>住民生活</u> 町民生活	3
	国際交流	11			
	集会の用	11		地域産業	3
	集会等の用	11	101	地域経済	3
	生涯学習活動	10		文化意識	2
	コミュニティ	10		文化活動の発表の場	2
	集会	10		文化を享受できる機会	2
	集会の場	9	105	文化の享受の場	2
	体育	9		文化交流の場	2
	文化活動の拠点	7		文化的交流の場	2
	県民文化	7		町民文化	2
	市勢	7	109	歴史	2
45	文化事業	6		芸術活動の拠点	2
46	文化生活	6		芸術の鑑賞の機会	2
47	舞台芸術	6		芸術の創造の機会	2
	音楽	6		芸術の発表の機会	2
	教育事業	6		芸術活動の発表の場	2
	連帯意識	6	115	その他芸術文化	2
	地域活動	6		芸術文化の鑑賞の機会	2
	地域活動の場	6		芸術文化にふれあう機会	2
	情操	6		文化芸術活動	2
	スポーツ	6		音楽事業	2
	音楽の鑑賞の機会	5		音楽を鑑賞する機会	2
	演劇	5		音楽を鑑賞することができる場	2
	学術事業	5		演劇を鑑賞する機会	2
	市民相互の交流	5		演劇を鑑賞することができる場	2
	地域連帯意識	5	124	舞踊を鑑賞する機会	2
	県民生活	5	125	舞踊を鑑賞することができる場	2
	文化水準	4		芸能鑑賞等の場	2
			127	芸能文化の鑑賞の機会	2
	文化の香り高い倉敷	4	127	芸能文化の鑑賞の機会	2
	芸術文化に関する知識	4			
	美術の鑑賞の機会	4		芸能文化の発表の機会	2
65	音楽文化	4	130	教育活動の拠点	2

表 3 対象指示語句別施設数 (No.131~260)

Vo	20074	施設数		数(No.131~260)	施設勢
	育成	2		国際的な文化	1
	_{百成} 交流の拠点	2		地域文化に対する意識	1
132	文流の拠点	2		農村文化	1
	交流活動				
134	国際的交流	2		住民文化	1
135	地域交流活動	2		県民文化の拠点	1
	世代間交流	2		歴史に関する資料	1
	ふれあい	2		民俗に関する資料	1
38	連帯の輪	2		文化財	1
39	地域連帯感	2	204	伝統	1
40	協調の輪	2	205	文化的市民生活	1
	親和連帯	2		生活文化に関する知識	1
	集会その他各種行事の場	2		生活文化の創造の場	1
	その他各種行事の場	2		生活文化の振興に資するための場	1
	その他催しの場	2		娯楽のための施設	1
	福祉事業	2	210	娯楽の機会	1
					1
	利用	2		その他の芸術	
	その他の用	2	212	市民芸術の創作活動	1
	都市	2		芸術活動の場	1
	市	2		芸術行事の用	1
	文化の薫るまち	2		芸術行事の利用	1
	活力あるまち	2		芸術鑑賞の機会	1
52	連帯感あふれるまち	2		芸術を享受できる機会	1
	地域活性化	2	218	その他芸術を享受できる機会	1
	地域の活性化	2		芸術に接する機会	1
	賑わい	2		その他芸術の鑑賞の場	1
	区民生活	2		芸術鑑賞の拠点	1
	創造活動	2		芸術の創造の場	1
	創造性	2		芸術体験	1
	体力	2	224	その他芸術の体験の場	1
	経済	2		芸術の普及の場	1_
	農業	2		その他芸術文化活動	1
62	定住	2	227	芸術文化に関する活動の場	1
63	人権	2	228	芸術文化活動の拠点	1
64	生きがい	2	229	芸術文化事業	1
65	文化の向上発展のための機会	1	230	芸術文化鑑賞の機会	1
	文化の向上発展のための場	1	231	その他芸術文化の鑑賞の機会	1
	文化の拠点	1		芸術文化を享受する機会	1
	文化の振興を図る拠点	1		芸術文化を市民が享受する機会	1
$\overline{}$		1		芸術文化の創造の機会	1
	道の文化の広域拠点	_			
	市民文化活動	1		その他芸術文化の創造の機会	1
	文化活動等	1		芸術文化を創造する場	1
	文化活動のよりどころ	1		芸術文化に関する創作活動	1
	その他の文化活動	1	238	芸術文化の発表の機会	1
74	文化活動等の用	1		芸術文化に関する発表活動	1
75	文化活動の機会	1		芸術文化を発信する場	1
	文化活動等の場	1	241	芸術文化に関する研究活動	1
	文化的活動の場	1		芸術文化に関する意識	1
	その他文化的活動等の場	1		文化芸術に関する活動	1
	文化行事の用	1		文化芸術の諸活動	1
	文化行事の用	1		文化芸術活動を実践できる場	1
	<u> </u>	1		文化芸術活動の場	1
	文化的な事業の用	1		文化芸術活動を行う場	1
83	文化に触れる機会	1		文化芸術の鑑賞機会	1
84	文化に接する機会	1		文化芸術を享受できる場	1
	文化創造の拠点	1		文化芸術を享受する場	1
	地域文化創造の交流拠点	1		その他文化芸術を鑑賞する機会	1
87	文化創造活動の交流拠点	1	252	文化芸術を創造できる場	1
	<u>創造的文化活動</u>	1		文化芸術の創作活動	1
	文化交流	1		文化芸術の創作活動を行う場	1
	各種文化交流	1		文化芸術の発表の場	1
901	<u>谷性又に文派</u> 藝術文化活動の交流の場	1		文化芸術の発表を行う場	1
		1 1	200		
91				カル共体の大法の坦	
91 92	文化の交流拠点施設	1	257	文化芸術の交流の場	1
91 92 93			257 258	文化芸術の交流の場 美術鑑賞の機会 美術の創作活動の機会	1 1

主 1	対象指示語句別施設数	(No 261~390)	
AV 4	划象有不错归则 加致级	(1NO.Z01~530)	

	表 4 对象指		20040000000000000000000000000000000000	受数(No.261~390)	t 4. =m slet
No		施設数	No		施設数
	舞台芸術に親しむ機会	1		県民教養	1
262	舞台芸術に親しむ場	1		知性教養	1
	その他舞台芸術の創造の拠点	1		教養知性	1
	舞台芸術を発表する機会	1		知識	1
	その他舞台芸術の発信の拠点	1		教育活動の場	1
266	その他舞台芸術の普及の拠点	1 1		教育文化活動	1
	音楽に対する関心	11	332	生涯教育活動	1
268	音楽の場	1	333	教育支援活動	1
	音楽芸術に親しむ場	1		学習	1
	音楽活動	1	335	学習等	11
	その他音楽活動の用	1	336	学習の機会	1
	その他音楽活動の場	1		学習の場	1
	音楽行事の用	1		学ぶ活動	1
274	音楽行事の場	1		その他の学習活動	1
275	音楽公演	1		学習支援活動	1
276	音楽鑑賞の用	1		生涯にわたる学習	1
	音楽鑑賞の機会	1		生涯にわたる学習の機会	1
278	音楽を享受できる機会	1	343	生涯にわたって学習する機会	1
	音楽鑑賞の場	1	344	生涯にわたる学習の場	1
	音楽の鑑賞の場	1		生涯学習の場	1
	音楽を練習する機会	1	346	生涯学習の拠点	1
282	音楽の練習をする場	1		生涯学習の中核	1
283	音楽の創作活動の機会	1		生涯学習推進の拠点施設	1
	音楽を演じる機会	1		生涯にわたる学習活動	1
	音楽の成果発表をする場	1		生涯学習に関する活動	1
	音楽の体験の場	1	351	生涯学習活動の拠点	1
	演劇の場	1		生涯学習の交流拠点	1
	演劇文化	1		研修	1
	演劇文化の拠点	1		研修等	1
	演劇行事の用	1		研修の用	1
	演劇行事の場	1		自己啓発	1
	演劇の鑑賞	1		自己研修	1
	演劇鑑賞の機会	1		自己実現	1
	演劇を享受できる機会	1		人材の育成	1
	演劇の鑑賞の場	1		交流の輪	1
295	演劇を練習する機会	1		交流人口の拡大	1
207	演劇の練習をする場	1		相互交流	1
297	演劇の練音をする場	1		交流の用	1
	演劇の創造の拠点	1		交流の拠点施設	1
	演劇の創造の拠点 演劇を演じる機会	1		理解	1
	演劇の成果発表をする場	1		相互理解	1
		1		交流する活動	1
	演劇の発表の場 演劇の体験の場	1		交流活動の拠点	1
		1		国際観光交流	1
	演劇の発信の拠点	1		国際交流活動	1
	演劇の普及の拠点	1		国際交流の拠点	1
306	舞踊を練習する機会	1		音楽を通じた国際交流	1
	舞踊を演じる機会	1			1
308	伝統芸能	1		国際友好親善国際理解	1
	伝統的な芸能	1		国际理解 その他地域間交流	1
	能			地域交流の場	1
	能楽	1			1
312	邦楽			地域間交流の拠点	1
	その他伝統的芸術文化	1		市民交流	1
	学術活動	1		世代間の交流	1
	学術活動の拠点	1		各種分野交流の拠点	
	調査研究	1		各種分野の交流拠点	1
317	科学技術	1	382	社交の用	1
	科学に対する理解	1		情報交換の場	1
	科学に対する関心	1		情報の総合的交流拠点	1
	教養の機会	1		地域コミュニティ活動	1
	教養の向上発展のための機会	1		コミュニティづくり	1
	教養の場	1	387	住民主体のコミュニティ	1
	教養の向上発展のための場	1		コミュニケーションの場	1
	教養のための施設	1		ふれあう場	1
	市民教養	1	390	ふれあい交流	1

表 5 対象指示語句別施設数(No.391~518)

No		施設数	No		施設数
	ふれあい交流の場	1		潤いや活気あるまち	1
	各種集会	1		魅力あるまち	1
	集う活動	1	458	文化性豊かなまち	1
394	集会の利便	1	459	心豊かな活力あるまち	1
	集会施設	1	460	活力のあるまち	1
	集会の利用	1	461	住み良いまち	1
397	各種の集会の用	1	462	中心市街地	1
	集いの場	1	463	地域の情報	1
399	集会のための施設	1	464	地域活性化の拠点	1
	会合のための施設	1	465	地域活性化の交流拠点	1
	その他活動	1	466	地域づくりの拠点	1
	活動の場	1	467	中心市街地の活性化	1
	活動をする場	1	468	にぎわい	1
	市民活動	1	469	まちづくりの気運	1
	市民活動の活性化	1		まちづくり活動推進の拠点	1
	町民活動	1	471	国際コンペンション都市づくりの拠点	1
	地域社会活動	1		ふるさと意識	1
	地域活動の拠点	1		生活の向上発展のための機会	1
	行事	1		生活の向上発展のための場	1
	その他の行事	1		市民生活の福祉	1
	その他行事の用	1 1		町民生活の形式	1
	各種の行事の用	1 1		社会生活	1
	各種の行事の用 その他行事の利用	1 1		生きがいのある生活	1
	<u>その他行事の利用</u> 各種事業	1		こころ豊かな生活	1
		1 1		生活環境	1
	その他催し等		_	心	1
	催しのための施設	1 1			1
	その他の催しの用	1 1		豊かな心	1
	催物の場	1 1		心身	
	その他の催しの場	1 1		人間性	1
	各種催し等の場	1 1		感性	1
	レクリエーション	1 1		精神的な豊かさ	1
	レクリエーションの利用	1		情報	1
	レクリエーション活動	1	488	情報発信機能	1
	レクリエーションの用	1		市民体位	1
	レクリエーション活動の場	1		保健	1
	レクリエーション等の活動を行う場	1	491	スポーツ活動の場	-1
	余暇	1		スポーツ活動の拠点	1
428	余暇活動	1		地域スポーツ	1
429	会議の用	11		厚生福祉	11
430	会議の利用	1		健康福祉	1
431	会議の場	1	496	勤労福祉	1
432	社会福祉の用	1		地場産業	1
433	福祉社会	1	498	産業の交流拠点施設	1
	生活福祉	1		産業経済	1
	福利	1	500	農業経営	1
	一般の利用	1		農家生活	1
	その他催物の利便	1		農村生活	1
	地方自治	1		観光	1
	町勢	1		広域観光	1
	市政	1		観光資源	1
	町政	1	506	観光行政	1
	県民	1		労働に関する活動	1
	市民	1		就業の機会	1
		1		図書館事業	1
	町民	1		公民館事業	1
	青少年			休養の場	1
	少年	1			1
	社会参加	1		憩いの場合とはいる。	1
	社会を築くための拠点	1		水防活動の拠点	_
	市民社会	1 1		学習生産販売活動	1 1
450	社会活動等の用	1 1		消費生活に関する活動	1
	地域間や都市	1	516	子育て	1
451					
451 452	まち	1		資質	1
451 452 453		1 1 1		<u>資質</u> 感動	1

2-3-2. 対象指示語句の区分

抽出された518の対象指示語句を整理する。

まず、公立文化ホール全般に共通して係る語句と個別のものを区分し、その前者は「共通語句」と呼ぶこととする(表 6~8)。「公立文化ホール」の名称自体に含まれる「文化」、公立文化ホール設置の根拠である地方自治法第 244 条に含まれる「福祉」の語などはその筆頭であり、その数は 157 である。

次に、個別の施設に係る語句には、本研究における「公立文化ホール」の定義の趣旨から著しく外れているもの(例えば「スポーツ」)が少数例外的に含まれており、それらは「除外語句」とする(表9)。その数 42 を除いて残った 319 の語句は、公立文化施設としての個別の施設の目的を示す中核的なものであり、「対象指示中核語句」とする。

表 6 共	通語句(地方	自治法第244条、自治体、	社会		域) 計	
	T	福祉	351		άl	Т
		市民福祉	47	1		1
				-		١.,
		住民福祉	19			
		町民福祉	3			1
		区民福祉	3	1		1
	400年初	社会福祉	21	450		1
	住民の福祉			450		
地十 台 公 :+		社会福祉の用	1			1
地方自治法		福祉社会	1		456	
第244条		福祉事業	2	1		1
				-		
		生活福祉	1			
		福利	1			
		利用	2	-	1	
				1		
	利用	一般の利用	1	6		
	13713	その他催物の利便	1			
		その他の用	2			
						1
		地方自治	1			1
		市勢	7			
		町勢	1			1
				t		1
		市政	1	Į.		
<u> </u>	:AH	町政	1	١.	6	1
目	治体	県民	1	1 1	U	
				t		1
		市民	1			1
		町民	1			1
		青少年	1			1
						1
		少年	1			1
		地域社会	23			1
		社会参加	1			1
	社会	社会を築くための拠点	1	27		1
		市民社会	1			1
			1			1
		社会活動等の用			-	
	1	都市	2			1
		地域間や都市	1			1
			_			
		地域	18			55
		市	2			"
		まち	1			
		本町	1			1
		心豊かなまち	1			
		文化の香り高いうるおいのあるまち	1			
						l
		文化の薫るまち	2			l
		潤いや活気あるまち	1			
		魅力あるまち	1			
	都市•地域	1867100のまち	'	44		
	테니다 가만성	文化性豊かなまち	1	-7		
		心豊かな活力あるまち	1			1
		心豊かで活力あるまち	3		1	1
41 A 14 1-4		日本い (月710)のかつ	-			1
社会•地域		活力あるまち	2		86	
		活力のあるまち				
		14 月のののまり	1			
		(ナス・ウェンナナ	-			
		住み良いまち	1			
		連 感 な こ わ ス 士ナ	2			
		連帯感あふれるまち	2	-		
		中心市街地	1			1
		地域の情報	1			
		地域活性化	2			
		1 170 ter (± 7± 7f	2			1
		地域の活性化	2			
		地域の活性化				1
		地域の活性化 地域活性化の拠点	1			
		地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点	1			
		地域の活性化 地域活性化の拠点	1			
	まちづくり	地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点 地域づくりの拠点	1 1 1	14		
		地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点 地域づくりの拠点 中心市街地の活性化	1 1 1	14		
	まちづくり地域活性化	地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点 地域づくりの拠点	1 1 1	14		
		地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点 地域づくりの拠点 中心市街地の活性化	1 1 1	14		
		地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点 地域づくりの拠点 中心市街地の活性化 賑わい	1 1 1 1 2	14		
		地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点 地域づくりの拠点 中心市街地の活性化 賑わい にぎわい まちづくりの気運	1 1 1 1 2 1	14		
		地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点 地域づくりの拠点 中心市街地の活性化 賑わい	1 1 1 1 2	14		
		地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点 地域づくりの拠点 中心市街地の活性化 賑わい にぎわい まちづくりの気運	1 1 1 1 2 1	14		
		地域の活性化 地域活性化の拠点 地域活性化の交流拠点 地域づくりの拠点 中心市街地の活性化 賑わい にぎわい まちづくりの気運 まちづくり活動推進の拠点	1 1 1 1 2 1 1	14		

表 7 共通語句(生活、心、情報、創造)

			合計	
	生活	30		
	生活の向上発展のための機会	1		
	生活の向上発展のための場	1		
	市民生活	25		
	市民生活の福祉	1		
	住民生活	3		
	県民生活	5		
生活	町民生活	3	76	
	町民生活の形式	1		
	区民生活	2		
	社会生活	1		88
	生きがいのある生活	1		
	こころ豊かな生活	1		
	生活環境	1		
	iù	1		
	豊かな心	1		
	心身	1		
ıĽ.	人間性	1	12	
	情操	6		
	感性	1		
	精神的な豊かさ	1		
情報	情報	1	2	
1月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月 11月	情報発信機能	1		
創造	創造活動	2	4	6

表 8	共通語句	(文化)
18 0		

			11 0	共通語句 (文化)			Δ÷L	ign) králn
		Ι		文化	441		合計	
				<u>又に</u> 文化の向上発展のための機会	1			
				文化の向上発展のための場	1			
					1			
		文	化	文化の拠点	1	452		
1				文化の振興を図る拠点				
				道の文化の広域拠点	1			
				文化水準	4			
				文化意識	2			
				市民文化	54			
		市氏	文化	市民文化活動	1	55		
				文化活動	39			
				文化活動等	1			
		1		文化活動のよりどころ	1			
					_			
1				その他の文化活動	1			
				文化活動の用	3			
				文化活動等の用	1			
		文化	活動	文化活動の機会	1	82		
				文化活動の場	23			
				文化活動等の場	1			
				文化的活動の場	1			
				その他文化的活動等の場	1			
				文化活動の発表の場	2			
	文化			文化活動の拠点	7		621	
	又亿	-		文化行事の用	1			
			- 仁吉			5		
		文化	:行事	文化的な催物等の用	3	э		
				文化行事の利用	1			
				文化事業	6			
		文化	事業	その他文化事業	1	8		
				文化的な事業の用	1			
				文化を享受できる機会	2		1	
- 1		1.00		文化に触れる機会	1			
		文化	鑑賞	文化に接する機会	1	6		
		文化創造		文化の享受の場	2			
					_			
				文化創造の拠点	1	2		
			7,72	地域文化創造の交流拠点	1	2	1	
		→ 小台	造活動	文化創造活動の交流拠点	1			
		7 10/01/2/LI 3//		創造的文化活動	1			730
文化		文化交流		文化交流	1			/30
				各種文化交流	1			
				文化交流の場	2			
1						8		
			72011	文化的交流の場	2			
1		文化情報		藝術文化活動の交流の場	1			1
				文化の交流拠点施設	1			
					1	1	1	
-		又10情報		文化情報	+ '-	<u>'</u>		4
		社会文化		社会文化	1	1		
		圏域文化			_			
				圏域文化	1			
						2		
1				国際的な文化	1	_		
				四 「	'			
				地域文化	34			
				地域文化に対する意識	1	39		
		地均	ໄ文化					
		吧場	~ 10	文化の香り高い倉敷	4		4	
		地場	~ 10	文化の香り高い倉敷	4	1		
	圏域文化	10月		農村文化	1	1	63	
	圏域文化	1000	住民文化	農村文化 住民文化	1	1	63	
	圏域文化		住民文化	農村文化 住民文化 県民文化	1 1 7		63	
	圏域文化	住民文化	住民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点	1 1 7	14	63	
	圏域文化		住民文化 県民文化 町民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化	1 1 7 1 2		63	
	圏域文化		住民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化	1 1 7 1 2 3		63	
	圏域文化		住民文化 県民文化 町民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化	1 1 7 1 2		63	
	圏域文化		住民文化 県民文化 町民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化	1 1 7 1 2 3		63	
	圏域文化	住民文化	住民文化 県民文化 町民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化	1 1 7 1 2 3 2		63	
	圏域文化	住民文化	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 歴史 歴史に関する資料	1 1 7 1 2 3 2	14	63	
	圏域文化	住民文化	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 歴史 歴史に関する資料 民俗に関する資料 文化財	1 1 7 1 2 3 2 1	14	63	
	圏域文化	住民文化	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 区民文化 歴史 歴史に関する資料 民俗に関する資料 文化財	1 1 7 1 2 3 2 1 1 1	14	63	
	圏域文化	住民文化歷史	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 歴史 歴史に関する資料 民俗に関する資料 文化財 伝統	1 1 7 1 2 3 2 1 1 1 1 6	14		
	圏域文化	住民文化	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 歴史 歴史に関する資料 医保に関する資料 文化財 伝統 文化生活 文化的な生活	1 1 7 1 2 3 2 1 1 1 1 6 3 3	14	63	
_	圏域文化	住民文化歷史	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 歴史に関する資料 歴史に関する資料 文化財 伝統 文化生活 文化的な生活 文化的市民生活	1 1 7 1 2 3 2 1 1 1 1 6 3 1 1	14		
_	圏域文化	住民文化歷史	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 歴史 歴史に関する資料 民俗に関する資料 文化財 伝統 文化生活 文化的な生活 文化的市民生活	1 1 7 1 2 3 2 1 1 1 1 6 3 1 3	14		
_	圏域文化	住民文化 歴史	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 歴史に関する資料 歴史に関する資料 文化財 伝統 文化生活 文化的な生活 文化的市民生活	1 1 7 1 2 3 2 1 1 1 1 6 3 1 1	14	10	
	圏域文化	住民文化歷史	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 歴史 歴史に関する資料 民俗に関する資料 文化財 伝統 文化生活 文化的な生活 文化的市民生活	1 1 7 1 2 3 2 1 1 1 1 6 3 1 3	14		
-	圏域文化	住民文化 歴史	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化 県民文化 原民文化 歴史 歴史に関する資料 民俗に関する資料 文化財 伝統 文化生活 文化的な生活 文化的な生活 文化的市民生活 生活文化 生活文化に関する知識 生活文化の創造の場	1 1 7 1 2 3 2 1 1 1 1 6 3 1 3 1 1 1	14	10	
	圏域文化	住民文化 歴史	住民文化 県民文化 町民文化 区民文化	農村文化 住民文化 県民文化 県民文化 県民文化の拠点 町民文化 区民文化 歴史 歴史に関する資料 民俗に関する資料 文化財 伝統 文化財 伝統 文化的な生活 文化的な生活 文化的な生活 文化的市民生活 生活文化 生活文化 生活文化に関する知識	1 1 7 1 2 3 2 1 1 1 1 6 6 3 1 1 31 1 1 1	14	10	

表 9 除外語句

			合計	
	体力	2		
	市民体位	1		
	健康	20		
	保健	1		
健康・スポーツ	体育	9	42	
	スポーツ	6		
	スポーツ活動の場	1		
	スポーツ活動の拠点	1		
	地域スポーツ	1		
	厚生福祉	1		
個別福祉	健康福祉	1	3	
	勤労福祉	1		
	産業	20		
	地域産業	3		
	地場産業	1		
	産業の交流拠点施設	1		
	産業経済	1		
産業·経済	経済	2	36	
ZX (20)	地域経済	3		
	農業	2		
	農業経営	1	1	
	農家生活	1	1	103
	農村生活	1		
	観光	1		1
	広域観光	1	١.	
観光	観光資源	1	4	
	観光行政	1	1	
	労働に関する活動	1		1
労働	就業の機会	1	2	
	図書館事業	1	T.	
個別施設事業	公民館事業	1	2	
	休養の場	1		1
休養	憩いの場	1	2	
	定住	2		1
	水防活動の拠点	1	1	
	学習生産販売活動	1	1	
	消費生活に関する活動	1	1	
その他	人権	2	12	
ての世	F 4100	_	1 ' -	
	子育で	1 1	1	
	資質 一	1	1	
	感動	1	1	
	生きがい	2		

2-3-3. 対象指示中核語句の類型化

対象指示中核語句においてもその数が 319 と多岐に渡るが、類義のものが多くみられるため、それらを整理し、類型化する。

手順としては

- ①同じ語を含む対象指示中核語句をまとめ、それらを概括するカテゴリを設ける。
- ②①で設けられたカテゴリの内、類義のものをまとめ、それらを概括するさらなるカテゴリを設ける。

以降②の手順を繰り返し、最終的に最も上位にあるカテゴリを対象指示中核語句の類型とする。なお、各カテゴリ内の語句についてはその抽象度等において序列をつける。

以上の類型化の結果、「芸術」型、「学術教育」型、「交流」型、「集会その他活動」型、の4類型を 得た(表10)。

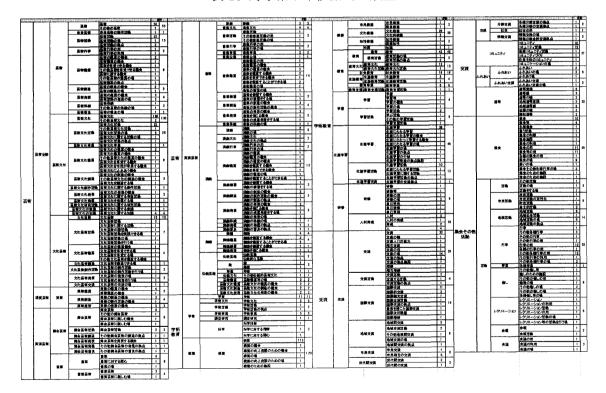


表 10 対象指示中核語句の類型

2-3-3-1. 「芸術」型

「芸術」型は表11、12のように整理された。

「芸術」型の下位には「芸術全般」と「視覚芸術」、「実演芸術」の3つがある。「視覚芸術」と「実演芸術」は「芸術全般」に包含される関係であるため、「芸術全般」を先頭に配置している。「芸術全般」には「芸術」と「芸術文化」、「文化芸術」の3つをまとめており、それぞれに「芸術」や「芸術文化」のような広い意味を表す語句、「文化活動」や「芸術文化事業」のような活動を意味する語句、「芸術鑑賞」や「芸術文化事業」のような具体的な活動内容を表す語句、それら以外の「芸術文化の意識」や「文化芸術交流」等がまとめられた。

「視覚芸術」の下位には「美術」があり、具体的な活動内容を表す「美術鑑賞」と「美術創造」、「美術発表」の3つがまとめられた。

「実演芸術」の下位には「舞台芸術」と「音楽」、「演劇」、「舞踊」、「伝統芸能」がまとめられ、それぞれに広い意味を表す語句や活動を意味する語句、具体的な活動内容を示す語句が含まれている。

表 11 「芸術」型(芸術全般~視覚芸術)

		表 11	· \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	(芸術全般~視覚芸術)	3 		= 1								
			-	芸術	54		計	T							
			芸術	その他の芸術	1	55									
			市民芸術	市民芸術の創作活動	1	1	1								
		100	芸術活動	芸術活動 芸術活動の場	12	15									
			Z PR71130	芸術活動の拠点	2	10									
			芸術行事	芸術行事の用	1	2	1								
			云柳1)尹	芸術行事の利用	1										
				芸術の鑑賞の機会	2										
			芸術鑑賞の機会	芸術を享受できる機会	1										
		芸術	芸術鑑賞	その他芸術を享受できる機会	1	8	91								
				芸術に接する機会	1										
				その他芸術の鑑賞の場	1										
				芸術鑑賞の拠点	1										
			芸術創造	芸術の創造の機会	1	3									
				芸術の創造の場 芸術の発表の機会	2	-	1								
			芸術発表	芸術活動の発表の場	2	4									
			芸術体験	芸術体験	1	2	1								
				その他芸術の体験の場	1										
			芸術普及	芸術の普及の場	1	1	-	1							
			芸術文化	芸術文化 その他芸術文化	168	170									
				芸術文化活動	22										
				その他芸術文化活動	1										
			芸術文化活動	芸術文化活動の場	3	28									
	芸術全般						芸術文化に関する活動の場	1							
			芸術文化事業	芸術文化活動の拠点 芸術文化事業	1	1									
		投 芸術文化	云州又112争未	芸術文化の鑑賞の機会	2	8	1								
			芸術文化鑑賞	芸術文化鑑賞の機会	1										
				その他芸術文化の鑑賞の機会	1										
				芸術文化を享受する機会	1			344							
				芸術文化を市民が享受する機会	1										
芸術				芸術文化にふれあう機会 芸術文化の創造の機会	1		220								
			芸術文化創造	その他芸術文化の創造の機会	1	3									
				芸術文化を創造する場	1										
									芸術文化創作 活動	芸術文化に関する創作活動	1	1			
										芸術文化発表	芸術文化の発表の機会	1	2		
			芸術文化発信 芸術文化研究 活動	芸術文化に関する研究活動	1	1									
			芸術文化の意識	芸術文化に関する意識	1	1									
			芸術文化の知 識	芸術文化に関する知識	4	4									
1								_	16		1				
1			文化芸術	文化芸術	16	10	ı	1							
			又化芸術	文化芸術活動	2	10									
			工义化芸術	文化芸術活動 文化芸術に関する活動	2	10									
			文化芸術活動	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動	2 1 1	7									
				文化芸術活動 文化芸術に関する活動	2										
				文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場	2 1 1 1										
				文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動の場 文化芸術活動を行う場 文化芸術活動を行う場	2 1 1 1 1 1 1										
		文化芸術		文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動の場 文化芸術活動を行う場 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術を享受できる場	2 1 1 1 1 1 1 1		33								
		文化芸術	文化芸術活動	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動を行う場 文化芸術活動を行う場 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術を享受できる場 文化芸術を享受する場	2 1 1 1 1 1 1 1 1	7	33								
		文化芸術	文化芸術活動	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動の場 文化芸術活動を行う場 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術を享受できる場	2 1 1 1 1 1 1 1	7	33								
		文化芸術	文化芸術活動 文化芸術鑑賞 文化芸術創造	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動を行う場 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術を享受できる場 文化芸術を享受する場 その他文化芸術を鑑賞する機会	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 4 1	33								
		文化芸術	文化芸術活動文化芸術鑑賞	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動を得り場 文化芸術活動を行う場 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術を享受できる場 文化芸術を享受する場 その他文化芸術を警覚する機会 文化芸術を創造できる場 文化芸術の創作活動 文化芸術の創作活動を行う場	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7	33								
		文化芸術	文化芸術活動 文化芸術鑑賞 文化芸術創造	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動を行う場 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術を享受できる場 文化芸術を享受する場 その他文化芸術を享受する場 その他文化芸術を警賞する機会 文化芸術を創造できる場 文化芸術の創作活動 文化芸術の創作活動を行う場 文化芸術の発表の場	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 4 1	33								
		文化芸術	文化芸術活動 文化芸術鑑賞 文化芸術創造 文化芸術創作活動 文化芸術発表	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動を写践できる場 文化芸術活動を行う場 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術を享受できる場 文化芸術を享受する場 その他文化芸術を享受する場 文化芸術を創造できる場 文化芸術の創作活動を行う場 文化芸術の創作活動を行う場 文化芸術の発表の場	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 4 1 2 2	33								
		文化芸術	文化芸術活動 文化芸術鑑賞 文化芸術創造 文化芸術創作活動 文化芸術発表 文化芸術交流	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動を行う場 文化芸術活動を行う場 文化芸術を享受できる場 文化芸術を享受する場 その他文化芸術を警賞する機会 文化芸術を創造できる場 文化芸術の創作活動を行う場 文化芸術の創作活動を行う場 文化芸術の発表の場 文化芸術の発表の場	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 4 1 2 2 1	33								
		文化芸術	文化芸術活動 文化芸術鑑賞 文化芸術創造 文化芸術創作活動 文化芸術発表	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動を写践できる場 文化芸術活動を行う場 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術を享受できる場 文化芸術を享受する場 その他文化芸術を享受する場 文化芸術を創造できる場 文化芸術の創作活動を行う場 文化芸術の創作活動を行う場 文化芸術の発表の場	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 4 1 2 2	33								
	視覚芸術	文化芸術	文化芸術活動 文化芸術鑑賞 文化芸術創造 文化芸術創作活動 文化芸術発表 文化芸術交流	文化芸術活動 文化芸術に関する活動 文化芸術の諸活動 文化芸術の諸活動 文化芸術活動を実践できる場 文化芸術活動を行う場 文化芸術活動を行う場 文化芸術の鑑賞機会 文化芸術を享受できる場 文化芸術を享受する場 その他文化芸術を鑑賞する機会 文化芸術を創造できる場 文化芸術の創作活動を行う場 文化芸術の創作活動を行う場 文化芸術の発表の場 文化芸術の発表を行う場 文化芸術の交流の場 美術の鑑賞の機会	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 4 1 2 2 1		2							

		表	12 「芸術」	」型(実演芸術)			合計											
				舞台芸術	6		₽ŘΤ	Π										
			無ム世年	その他の舞台芸術	1	9												
			舞台芸術	舞台芸術に親しむ機会	1	J												
				舞台芸術に親しむ場	1													
		舞台芸術	舞台芸術活動	舞台芸術活動	3	3	16											
		-	舞台芸術創造	その他舞台芸術の創造の拠点	1	1_												
			舞台芸術発表	舞台芸術を発表する機会	1	1												
				その他舞台芸術の発信の拠点	1	1_												
			舞台芸術普及	その他舞台芸術の普及の拠点	1	1	-	1										
			***	音楽	6	8												
			音楽	音楽に対する関心	1	8												
					音楽の場 音楽芸術	3												
			音楽芸術	音楽芸術に親しむ場	1	4												
		ŀ	歌劇	歌劇	3	3												
			音楽文化	音楽文化	4	4	1											
				音楽活動	1		I											
			音楽活動	その他音楽活動の用	1	3												
				その他音楽活動の場	1													
			音楽行事	音楽行事の用	1	2												
				音楽行事の場	1		-											
			音楽事業	音楽事業	2	2	1											
			音楽公演	音楽公演	1	1	1											
		音楽		音楽鑑賞の用	1		52											
				音楽鑑賞の機会	5													
				音楽の鑑賞の機会 音楽を鑑賞する機会	2													
			音楽鑑賞	音楽を享受できる機会	1	14												
				音楽を鑑賞することができる場	2													
				音楽鑑賞の場	1													
				音楽の鑑賞の場	1													
			音楽練習	音楽を練習する機会	1	2												
					日本林日	音楽の練習をする場	1	_	-									
					音楽創造	音楽の創造の機会	3	4										
			A 11107/02	音楽の創作活動の機会	3	-	1											
			音楽発表	音楽の発表の機会 音楽を演じる機会	1	1												
			日本光衣	音楽の成果発表をする場	1	,												
			音楽体験	音楽の体験の場	1	1												
			Harriso					1										
					演劇	演劇	5	6										
	実演芸術			演劇の場	1													
芸術		芸術	演劇文化	演劇文化	1	2		13										
			-				/A.M./ ~ 10	演劇文化の拠点	1	1	-							
				演劇行事の用	1													
					演劇行事		+	2										
					演劇行事の場	1												
														(20 min) (20 Min 199	1	\vdash	1	
											演劇の鑑賞	1						
				演劇鑑賞の機会	1													
			演劇鑑賞	演劇の鑑賞の機会	4	12												
			77 178 2 PAG 574	演劇を鑑賞する機会	2	-	20											
		演劇	演劇	演劇	演劇		演劇を享受できる機会	1		38								
				演劇の鑑賞の場 演劇を鑑賞することができる場	2													
					LL 5.11	演劇を練習する機会	1		1									
			演劇練習	演劇の練習をする場	1	2												
				演劇の創造の機会	3		1											
			演劇創造	演劇の創作活動の機会	1	5												
				演劇の創造の拠点	1		1											
				演劇の発表の機会	3													
			演劇発表	演劇を演じる機会	1	6												
				演劇の成果発表をする場	1													
			· 中山/十四	演劇の発表の場合	1	1	1											
			演劇体験 演劇発信	演劇の体験の場 演劇の発信の拠点	1	1	1											
			演劇光信演劇普及	演劇の普及の拠点	1	1	1											
			舞踊	舞踊	4	4	T	1										
				舞踊を鑑賞する機会	2													
		舞踊	舞踊鑑賞	舞踊を鑑賞することができる場	2	4	10											
			舞踊練習	舞踊を練習する機会	1	1	1											
			舞踊発表	舞踊を演じる機会	1	1	-	1										
			伝統芸能	伝統芸能	1	2												
			は利力を	伝統的な芸能	1	-	1											
			g-ta-	能	1													
			能	能楽	1	2												
			±17 14:		1	- 4	1											
		伝統芸能	邦楽	邦楽		1	14											
			伝統文化	その他伝統的芸術文化	1	1	-											
						本会の後ですの性	2	2	-									
						芸能鑑賞	芸能鑑賞等の場	_	_	-								
			芸能鑑賞芸能文化鑑賞	芸能文化の鑑賞の機会	2	2												
					_	_												

2-3-3-2. 「学術教育」型

「学術教育」型は表13のように整理された。

「学術教育」型の下位には「学術」「教養」「教育」「学習」「生涯学習」「研修」の6つがあり、「学術」は「学問と芸術」^{注4)}という意味であることから先頭に配置した。

「教養」と「教育」はどちらも「教え育てること」^{注5)}という意味を持つが、「教養」は「教育」よりも広い意味を持つとして「教養」、「教育」の順で並べ、次いで「学習」、「生涯学習」とし、最後に「研修」の順である。「学術」には「学術」と「学術文化」のような活動を表す語句、それ以外の「調査研究」「科学」がまとめられた。

				2術教育」型			0.01	
	Т	I	類型 学術	学術	11	11	合計	Τ.
		- 4	学術文化	学術文化	3	3	ł	
				学術活動	1			
		7	4術活動	学術活動の拠点	1	2		
	学術	学	術事業	学術事業	5	5 25	25	
		25	查研究	調査研究	1	1		
				科学技術	1			
			科学	科学に対する理解	1	3		
				科学に対する関心	1			_
				教養	115			
				教養の機会	1			
			教養	教養の向上発展のための機会	1	120		
				教養の場	1			
				教養の向上発展のための場	1	-		
	教養			教養のための施設	1	-	157	1
	秋賞	市	T民教養	市民教養	1	2	157	
				県民教養 文化教養	29	-	ł	
		文	化教養	文化的教養	3	32		
			1.1.4	知性教養	1			1
		知	1性教養	教養知性	1	2		1
			知識	知識	1	1		1
			教育	教育	43	43		1
		教育		教育活動の場	1	3		
	教育		教育活動	教育活動の拠点	2			
		教育文化	教育文化	文化 教育文化		13		1
		教育又10	教育文化活動	教育文化活動	1	1	89	
	秋月	社	会教育	社会教育	18	18	03	
		生涯教育	生涯教育	生涯教育	3	3		
			生涯教育活動	生涯教育活動	6	1		
***			育事業			6		1
学術		教育支援	教育支援活動	教育支援活動	1	1		-
教育				学習	1	1		335
拟月			学習	学習等	1	4		
				学習の機会 学習の場	1			
	学習			学習活動	3		10	
		学習活動		学ぶ活動	1			
				その他の学習活動	1	6		
				学習支援活動	1			
				生涯学習	38			7
				生涯にわたる学習	1			1
				生涯にわたる学習の機会	1			
				生涯にわたって学習する機会	1			1
		生	涯学習	生涯にわたる学習の場	1	46		1
				生涯学習の場	1	1		
	生涯学習			生涯学習の拠点	1	1	60	1
				生涯学習の中核	1	1		
				生涯学習推進の拠点施設	1	\vdash		
				生涯学習活動	10	1		1
		生涯	学習活動	生涯にわたる学習活動	1	13		1
				生涯学習に関する活動生涯学習活動の拠点	1	+ 1		
		生涯	学習交流	生涯学習の交流拠点	1	1		
		工//±	1	研修	1	-'-		1
				研修等	1	1		
				研修の用	1	1		
			研修	研修の場	3	9		
				自己啓発	1			
	研修			自己研修	1		19	
	प्राक्						19	
	ध्या १७०			自己実現	1			
	ध्या भङ			人材	3			
	प्रग १ इड		材育成	人材 人材の育成	3	10		
	ध्याङ	٨	材育成	人材	3	10		

表 13 「学術教育」型

[注釈]

注 4) 新村出. 広辞苑 第五版. 岩波書店, 1998, p472

注 5) 新村出. 広辞苑 第五版. 岩波書店, 1998, p687, 704

2-3-3-3. 「交流」型

「交流」型は表14のように整理された。

「交流」の下位には「交流」と「コミュニティ」、「ふれあい」、「連帯」の4つがあり、「交流」には「交流」の他に「交流活動」や「国際交流」、「地域交流」、「市民交流」等がある。「国際交流」については「文化芸術振興基本法」と「劇場法」の中で「国際的な交流」という語が登場する。「地域コミュニティ活動」についても「劇場法」で「地域コミュニティ」という語が登場する。

合計 交流 32 交流の輪 1 交流人口の拡大 1 相互交流 1 交流の用 1 交流 53 交流の場 14 交流の拠点 2 交流の拠点施設 理解 1 1 相互理解 交流活動 2 交流活動 交流する活動 4 交流活動の拠点 1 国際交流 11 国際的交流 2 国際観光交流 国際交流活動 1 国際交流 19 交流 100 国際交流の拠点 1 音楽を通じた国際交流 1 国際友好親善 1 国際理解 地域間交流 3 地域交流活動 2 地域交流 その他地域間交流 8 1 地域交流の場 地域間交流の拠点 交流 157 市民交流 市民交流 6 市民相互の交流 5 世代間交流 2 世代間交流 3 世代間の交流 各種分野交流の拠点 分野交流 2 各種分野の交流拠点 1 社交 社交の用 1 情報交換の場 情報交流 2 情報の総合的交流拠点 10 コミュニティ コミュニティ活動 13 地域コミュニティ活動 1 コミュニティ 27 コミュニティづくり 住民主体のコミュニティ コミュニケーションの場 ふれあい 2 ふれあい ふれあいの場 3 6 ふれあい ふれあう場 8 ふれあい交流 1 ふれあい交流 ふれあい交流の場 連帯意識 6 連帯感 3 連帯の輪 2 連帯 22 地域連帯意識 5 地域連帯感 2 協調の輪 2 親和連帯

表 14 「交流」型

2-3-3-4. 「集会その他活動」型

「集会その他活動」型は表15のように整理された。

「集会その他活動」の下位には「集会」と「活動」の2つがあり、「活動」には「市民活動」「地域活動」「行事」「事業」等がまとめられた。これらは日本の公立文化ホールの「公衆の会合などに使用される公共の建物」^{注6}である公会堂と関連する語句である。

表 15 「集会その他活動」型 合計 10 集会 集会等 4 各種集会 1 集う活動 1 集会の利便 1 集会施設 集会の利用 1 集会 56 集会の用 11 集会等の用 11 各種の集会の用 1 集会の場 9 集いの場 1 集会その他各種行事の場 2 集会のための施設 1 会合のための施設 その他活動 活動 3 活動の場 1 活動をする場 市民活動 市民活動の活性化 市民活動 6 町民活動 自主的活動 3 地域活動 6 地域社会活動 地域活動 14 6 地域活動の場 地域活動の拠点 1 集会その 行事 1 134 その他各種行事 3 他活動 その他の行事 1 その他行事の用 1 行事 行事の用 12 35 各種の行事の用 1 その他各種行事の用 13 その他行事の利用 1 活動 その他各種行事の場 2 73 事業 各種事業 1 1 その他催し等 催しのための施設 その他の催しの用 催し 催物の場 8 その他催しの場 2 その他の催しの場 各種催し等の場 レクリエーション レクリエーションの利用 レクリエーション活動 6 レクリエーション レクリエーションの用 1 レクリエーション活動の場 1 レクリエーション等の活動を行う場 余暇 余暇 2 余暇活動 会議の用 1 会議 3 会議の利用 1 会議の場

[注釈]

注 6) 北原保雄. 明鏡 国語辞典. 大修館書店, 2002, p539

2-4. 作用指示語句の整理

2-4-1. 作用指示語句の抽出

作用指示語句についても対象指示語句におけるのと同様分析対象である906施設の条例 から91の語句が抽出された(表16)。

特に上位3つの語句が設置目的において多く使われており、最も多いのは「向上する」 で 906 施設中 535 施設 (59.1%)、次いで「増進する」が 412 施設 (45.5%)、「振興する」 が357施設(39.4%)と続く。

		表	ŧ 16	作用指示語句別	」施設	数		
No		合計	No		合計	No		合計
1	向上する	535	31	広げる	4	61	保存する	1
	増進する	412	32	拡大する	4	62	努める	1
	振興する	357		育む	4		向上発展する	1
4	提供する	93	34	実現する	3		企画実施する	1
5	発展する	81		援助する	3		保管する	1
6	創造する	65	36	保持する	3		保存活用する	1
	促進する	64	37	創出する	3	67	もたらす	1
8	推進する	56	38	かん養する	3		高度化する	1
9	供する	51		継承する	3		活動する	1
10	する	41		発信する	2		集う	1
	つくる	40		尊重する	2		向上振興する	1
12	高揚する	30		普及向上する	2		潤いを与える	-1
	形成する	25	43	親しむ	2		相互交流する	1
14	高める	19	44	豊かにする	2		興隆する	1
	普及する	18		伝承する	2		営む	1
16	普及振興する	16	46	鑑賞する	2		展示する	1
	図る	13		発達する	2	77	伸展する	1
18	寄与する	11		活用する	2		建設する	1
19	活性化する	10		充実向上する	2		改善合理化する	1
	交流する	10		触れる	2		送る	1
	行う	9		助長する	2		増強する	1
22	使用する	8		健全育成する	2		養う	1
23	深める	8		進める	1		整備する	1
	資する	7		奨励する	1		改善する	1
25	充実する	7		設ける	1		創作する	1
26	支援する	6		興隆伸長する	1		培う	1
	育成する	5		収集する	1		改善向上する	1
	利用する	5		進展する	1		文化的向上する	1
29	展開する	4		享受する	1		与える	1
	醸成する	4	60	啓発する	1		開発する	1
						91	増大する	1

2-4-2. 作用指示語句の区分・整理

抽出された作用指示語句は91と対象指示中核語句の518と比べて少ないうえ、基本的に 正の作用を示すものとして概括される。それをあえて区分・類型化するのであれば、「向上 する」、「増進する」等を含む「振興」型 (表 17) とそれ以外 (表 18) である。

表 17 作用	用指示語句(「掂	「興」	型)
		合	計
	向上する	535	
	向上発展する	1	
	向上振興する	1	
	充実向上する	2	
	普及向上する	2	
向上する	改善向上する	1	593
	文化的向上する	1	
	高める	19	
	高度化する	1	
	高揚する	30	
	振興する	357	
振興する	普及振興する	16	374
10X 2E 7 0	奨励する	1	0,1
	増進する	412	
増進する	増強する	1	414
相座する	増大する	1	7,7
	推進する	56	
促進する	促進する	64	121
促進する	進める	1	121
	発展する	81	
	発達する	2	
発展する	進展する	1	87
元成りつ	伸展する	1	07
	助長する	2	
	活性化する	10	
	充実する	7	
活性化する	豊かにする	2	21
万江にする	興隆する	1	
	興隆伸長する	1	
発信する	発信する	2	2
7610 7 0	普及する	18	
	展開する	4	
普及する	広げる	4	30
	拡大する	4	
啓発する	啓発する	1	1
	親しむ	2	
親しむ	触れる	2	4
	支援する	6	_
支援する	援助する	3	9
	育成する	5	
	育む	4	
本はナフ	養う	1	16
育成する	健全育成する	2	ıσ
	かん養する	3	
	培う	1	

表 18 作用指示語句(「個別」型)

秋 10 下 用:			土/
		台	計
	創造する	65	
会1、生士 2	つくる	40	109
創造する	創作する	1	109
	創出する	3	
企画実施する	企画実施する	1	1
正四久地)	使用する	8	<u> </u>
使用する	利用する	5	15
DC/TI 9 TO	活用する	2	10
交流する	交流する	10	11
	相互交流する	1	
鑑賞する	鑑賞する	2	3
	享受する	1	
集う	集う	1	1
収集する	収集する	1	1
	保持する	3	
促性士工	保管する	1	6
保持する	保存する	1	0
	保存活用する	1	
展示する	展示する	1	1
	継承する	3	
継承する	伝承する	2	5
	する	41	
する	行う	9	51
7.0	活動する	1	0.
	寄与する	11	
寄与する	資する	7	18
	図る	13	
図る	努める	1	14
	提供する	-	
	H-GH-11	93	
	供する	51	
	与える	1	
10 11 1- 5	もたらす	1	
提供する	潤いを与える	1	151
	開発する	1	
	建設する	1	
	整備する	1	
	設ける	1	
形成する	形成する	25	29
1151476 3 (2)	醸成する	4	23
深める	深める	8	8
改善する	改善する	1	2
以告りる	改善合理化する	1	
実現する	実現する	3	3
	尊重する	2	
その他	送る	1	4
	営む	1	

2-5. 設置目的の類型化

2-5-1. 基盤類型

設置目的は対象指示語句、作用指示語句からなっており、設置目的に含まれる両者の類型を組合せることで設置目的の類型が導出できる。作用指示語句について、先の2類型はあえて設けたものであり、煩雑化の回避も考慮し、ここでは「正の作用を示すもの」としての1類型を用いることとする。

したがって対象指示語句、作用指示語句の類型の組合せの結果として得られるのは対象 指示語句、それも実施的に対象指示中核語句における類型そのものとなる。つまり「芸 術」型、「学術教育」型、「交流」型、「集会その他活動」型の4つである。

そこで、これらを設置目的の「基盤類型」とする。なお、設置目的に含まれる対象指示 語句は一つとは限らないことに留意が必要である。

2-5-2. 目的指示語句

設置目的の類型化にあたり、改めて用語の整理をしておく。対象指示語句の類型化にあたり抽出したのが、公立文化施設としての個別の施設の目的を示す「対象指示中核語句」であった。

同語句に関する同呼称は対象指示語句の類型化の目的に即して付けられたものであるが、ここで同語は設置目的の類型化のために用いられることになる。そこでここでは「対象指示中核語句」を「目的指示語句」と改める。

目的指示語句は施設(条例)によって一つのものと複数のものがある。その目的指示語句数別の施設数を集計したのが表 19 である。

目的指示語句数 施設数 割合 356 55.8% 180 28.2% 51 8.0% 26 4.1% 10 1.6% 0.9% 目的指示語句数 10 12 11 8 9 0.2% 0.0% 0.0% 0.5% 0.3% 0.2% 0 0 施設数 割合 1 目的指示語句数 15 16 14 合計 13 0.2% 638 100.0% 0.0% 0 0.0% 0.2% 施設数 割合 0

表 19 目的指示語句数別施設数

2-5-3. 設置目的の類型化

目的指示語句数が一つの施設は基盤 4 類型の中の一つと対応するのに対して、複数のものは必ずしもそうでない。複数の目的指示語句は、そのすべてが 4 類型中の一つに対応する場合もあれば、そのそれぞれが異なる類型に対応する場合もある。

そこで、4 類型の上位に「単一目的型」と「複数目的型」の二つの類型をまず設ける。 前者は目的指示語句が一つの場合、あるいは複数であっても、それらが全て 4 類型中の一 つと対応するものであり、後者は目的指示語句が複数あり、それらが 4 類型中の複数と対 応するものである。後者ではその 4 類型中の複数類型の組合せが生じることになり、それ を新たな類型とする(例:「芸術+学術教育」型)。また、そうして得られた各類型中に含 まれる基盤類型の数を「目的数」とする。

表 20 にそれら類型と、それらと対応する施設数を集計した。類型の並びとしては目的数と基盤類型の序列にしたがった。

ここに得られた類型は設置目的に関するものであるが、それは同時に施設のものでもある。ただし、設置目的は現行条例におけるものであり、その類型を施設に適用する場合には「現状における」との条件付きとなる。以下、本稿においてはわかり易さを優先し、類型は「現状における」施設に関するものとして扱う。

同表より、4 要素から成立する全ての組合せに対応する類型がみられる。638 施設中単一目的型が 444(69.6%)、複数目的型が 194(30.4%)で、単一目的型が大半である。前者については「芸術」「学術教育」の両型が順に 187、175 とその多くを占め、後者についてもその両型が軸となっていることが分かる。

	目的数	No	類型		施記	2数							
		1	芸術	187									
単一目的型	1	2	学術教育	175	4.	14							
単一日的空	'	3	交流	47	"								
		4	集会その他活動	35									
		1	芸術+学術教育	72									
	2					2	芸術+交流	32					
		3	芸術+集会その他活動	13	175								
		2	2	2	2	2	2	4	学術教育+交流	22	1/3		638
		5	学術教育+集会その他活動	17									
複数目的型		6	交流+集会その他活動	19		194							
		1	芸術+学術教育+交流	9									
	3	2	芸術+学術教育+集会その他活動	4	18								
	3	3	芸術+交流+集会その他活動	0	10								
		4	学術教育+交流+集会その他活動	5									
	4	1	芸術+学術教育+交流+集会その他活動	1	1								

表 20 目的数別施設数

第3章 類型の経年変化

- 3-1. 施設条例の制定年代別分布
- 3-2. 類型別施設数の経年変化
- 3-3. 目的数別施設数の経年変化

3-1. 施設条例の制定年代別分布

2-5. で導出された類型に該当する 638 施設のうち設置条例制定年が確認できた 636 施設を、制定年の年代毎に集計した結果が表 21 である。

1950 年代と 2010 年代はそれぞれ 14、17 施設と他の年代よりも施設数が少なかったため、以降 1950・60 年代、2000・10 年代とまとめて扱う。

	表	21	施設の年代別分布
--	---	----	----------

SC 21 WEBS 1 100 100 10										
年代	1950-60		1970 1980		1990	2000	合計			
	1952~1959	1960~1969	1970~1979	1980~1989	1990~1999	2000~2009	2010~2012	四部		
ハモン会士	14	42	60	85	128	290	17	636		
分析対象施設	56		60	85	128	307		030		

3-2. 類型別施設数の経年変化

ここで類型別施設数の経年変化をみる。類型別施設数を年代毎に集計したのが表 22、その年代毎の割合について図化したのが図 5~10 である。

単一目的型(目的数 1) についてみる。「芸術」型は 1950・60 年代の 5.4%から年代を追って 21.7%、32.9%、36.7%と増加した後、2000・10 年代に 31.3%に転じている(図 5)。

「学術教育」型は 1950・60 年代で 26.8%、次ぐ 1970 年代で 46.7%に急増し、以降 29.4%、19.5%と減少、2000・10 年代に 26.4%と比較的大きな増減がみられる (図 6)。

「交流」型は 1950・60 年代の 5.4%から、1.7%、5.9%、14.1%、6.5%と振幅は小さいものの「学術教育」型とは逆の変化の傾向である(図 7)。

「集会その他活動」型は 1950・60 年代の 37.5%から 11.7%、さらに 1.2%へとの急減以降、 0.0%、2.0%と低水準で残っている(図 8)。

複数目的型 194 施設のうち 175(90.2%)を占めるのが目的数 2 のものである。その特徴的なものもみておくと「芸術+学術教育」型が 1950・60 年代から年代を追って 1.8%、5.0%、8.2%、10.2%、15.6%と明確な増加傾向である(図 9)。そして「芸術+交流」型について、1950・60 年代から 1970 年代に 5.4%、0.0%と減少するが、以降 2.4%、7.0%と増加し、2000・10 年代に 5.9%と若干減少するが、概ね増加傾向である(図 10)。

他の目的数 2 の類型では割合の増加傾向はみられないが、施設数でみると年代を追っての増加傾向や 2000・10 年代での増加がみられる。

「芸術+集会その他活動」型は1950・60年代に1施設、以降1、4、2、5と2000・10年代で施設数が増加している。

「学術教育+交流」型も 1950・60 年代に 0 施設、以降 7、3、3、9 と 2000・10 年代で施設

数が増加している。「学術教育+集会その他活動」型は 1950・60 年代に 6 施設、以降 0、0、1、9 と 2000・10 年代に施設数が増加している。

目的数 3 の施設数をみると「芸術+学術教育+交流」型は 1950・60 年代に 0 施設、以降 0、1、3、5 と増加している。

「芸術+学術教育+集会その他活動」型は 1980 年代まで 0 施設、1990 年代に 1、2000・10 年代に 3 と増加している。

「学術教育+交流+集会その他活動」型は 1970 年代まで 0 施設、1980 年代に 1 施設、1990 年代に 2 と増加し、2000・10 年代に 2 である。

以上のように目的数2と同様、施設数でみると年代を追っての増加傾向がみられる。

			双 44 规 生 / / / / /	511230	V 1 1	イソコカ国	HX 3/	□.1 □					
/	目的数	No		1950-	60年代	1970年代		1980年代		1990年代		2000・10年代	
		1	芸術	3	5.4%	13	21.7%	28	32.9%	47	36.7%	96	31.3%
単一		2	学術教育	15	26.8%	28	46.7%	25	29.4%	25	19.5%	81	26.4%
目的型	1	3	交流	3	5.4%	1	1.7%	5	5.9%	18	14.1%	20	6.5%
4	4	集会その他活動	21	37.5%	7	11.7%	1	1.2%	0	0.0%	6	2.0%	
		1	芸術+学術教育	1	1.8%	3	5.0%	7	8.2%	13	10.2%	48	15.6%
		2	芸術+交流	3	5.4%	0	0.0%	2	2.4%	9	7.0%	18	5.9%
	_	3	芸術+集会その他活動	1	1.8%	1	1.7%	4	4.7%	2	1.6%	5	1.6%
	2	4	学術教育+交流	0	0.0%	7	11.7%	3	3.5%	3	2.3%	9	2.9%
10-301		5	学術教育+集会その他活動	6	10.7%	0	0.0%	0	0.0%	11	0.8%	9	2.9%
複数		6	交流+集会その他活動	3	5.4%	0	0.0%	8	9.4%	3	2.3%	5	1.6%
目的型		1	芸術+学術教育+交流	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	3	2.3%	5	1.6%
	3	2	芸術+学術教育+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	3	1.0%
	٥	3	芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		4	学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	2	1.6%	2	0.7%
	4	1	芸術+学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
			合計	56	100.0%	60	100.0%	85	100.0%	128	100.0%	307	100.0%

表 99 類型別施設数の年代別施設数・割合

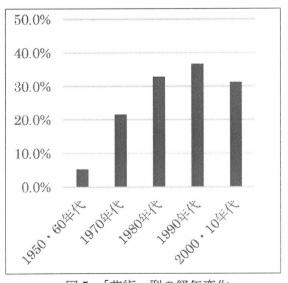


図5 「芸術」型の経年変化

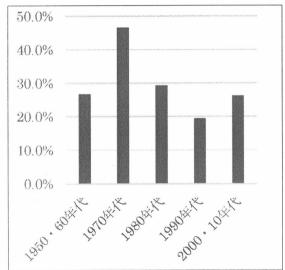


図6「学術教育」型の経年変化

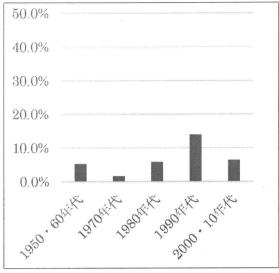


図7 「交流」型の経年変化

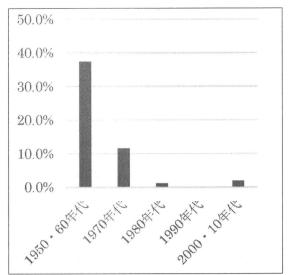


図8 「集会その他活動」型の経年変化

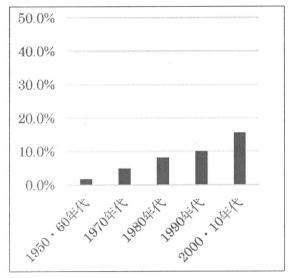


図 9 「芸術+学術教育」型の経年変化

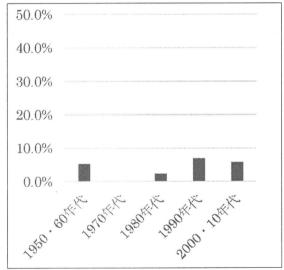


図 10 「芸術+交流」型の経年変化

3-3. 目的数別施設数の経年変化

目的数別施設数を年代毎に集計したのが表 23、その年代毎の割合について図化したのが 図 11 である。

目的数 1、すなわち単一目的型の施設は 1950・60 年代の 75.0%から次ぐ 1970 年代に 81.7%に増加するものの、以降は 69.4%、70.3%、66.1%と概ね減少傾向といえる。

一方で複数目的型の目的数 2 は $1950 \cdot 60$ 年代の 25.0%から次ぐ 1970 年代に 18.3%に減少するものの、以降は 28.2%、24.2%、30.6%と概ね増加傾向といえる。目的数 3 も $1950 \cdot 60$ 年代の 0.0%から年代を追って 0.0%、2.4%、4.7%であり、 $2000 \cdot 10$ 年代に 3.3%となるが、全体としては概ね増加傾向といえる。

以上より、目的数1の単一目的型の施設は年代を追って減少傾向であるのに対し、目的数2や3の複数目的型の施設は増加傾向である。

		1950-60年代		1970年代		1980年代		1990年代		2000・10年代	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
単一目的型	1 2	42	75.0%	49	81.7%	59	69.4%	90	70.3%	203	66.1%
	2	14	25.0%	11	18.3%	24	28.2%	31	24.2%	94	30.6%
複数目的型	3	0	0.0%	0	0.0%	2	2.4%	6	4.7%	10	3.3%
	4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%
合計		56	100.0%	60	100.0%	85	100.0%	128	100.0%	307	100.0%

表 23 目的数別施設数の経年変化

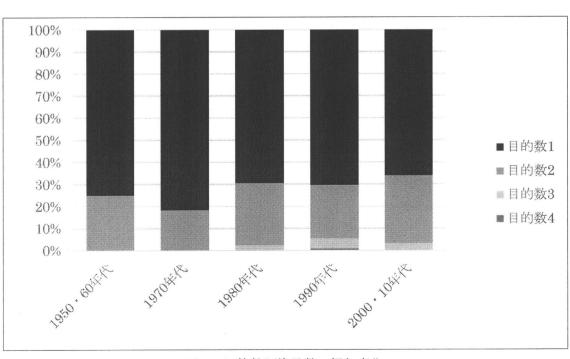


図 11 目的数別施設数の経年変化

第4章 施設類型と建築の実態

- 4-1. 分析方法
- 4-2. 類型と施設機能
- 4-3. 複数目的型施設と施設機能
 - 4-3-1. 施設機能数の経年変化
 - 4-3-2. 目的数と施設機能数
- 4-4. 複数目的型施設と複合
 - 4-4-1. 複合施設と併設、同居施設
 - 4-4-2. 複数目的型施設と複合の関係の概況
 - 4-4-3. 併設施設数の経年変化
 - 4-4-4. 目的数と併設施設数

4-1. 分析方法

本章では施設類型と建築の実態がどのように対応しているかをみる。 建築の実態としては、既往研究における調査票の設問より、施設機能を取り上げる。

まず類型と施設機能の対応について考察し、さらに、その内容との関連で類型における 複数目的型のものと施設機能、施設の複合との関係をみていく。対象施設数は前章を継い で 636 である。

4-2. 類型と施設機能

類型毎に施設機能別施設数を集計したのが表 24、その類型毎の割合について図化したのが図 12~16 である。

練習室(リハーサル室)機能について、まず単一目的型(目的数 1)の類型との関係をみると、「芸術」型から「学術教育」「交流」「集会その他活動」へと類型の序列に従って75.9%、51.7%、48.9%、37.1%と減少する。続いて複数目的型で目的数 2 の類型との関係をみると、「芸術+集会その他活動」型が76.9%と最も割合が高く、次いで「芸術+交流」型が68.8%、「芸術+学術教育」型が68.1%であり、「芸術」型との組合せの類型が高い割合を示している(図 12)。

集会室機能については、単一目的型の類型との関係では、「芸術」型から類型の序列に 従って 48.1%、71.3%、70.2%、82.9%と概ね増加する。複数目的型で目的数 2 の類型との 関係では、「芸術+集会その他活動」型が 84.6%、「学術教育+集会その他活動」型が 81.3% であり、「集会その他活動」型との組合せの類型が高い割合を示している(図 13)。

ギャラリー機能については、単一目的型の類型との関係では、「芸術」型「学術教育」型「交流」型の3類型が49.7%、46.6%、48.9%とほぼ同水準で「集会その他活動」型が31.4%と相対的に低い。複数目的型で目的数2の類型との関係では、「芸術+交流」型が71.9%、「学術教育+交流」型が59.1%、「芸術+学術教育」型が54.2%であり、「芸術」「交流」「学術教育」の3者の組合せの類型で高い割合を示している(図14)。

図書・情報サービス機能については、単一目的型の類型との関係では、「学術教育」型が 27.0%、次いで「交流」型が 21.3%である。複数目的型で目的数 2 の類型との関係では、「学術教育+交流」型が 50.0%と高い割合を示している(図 15)。

生涯学習関連機能については、単一目的型の類型との関係では、「学術教育」型が 28.7% と高い割合を示している。次いで「交流」型が 12.8%、「芸術」型が 12.3%である。複数目的型で目的数 2 の類型との関係では、「学術教育+交流」型が 36.4%と高い割合を示している(図 16)。

	ホール	レ機能		(リハー E)機能	ギャラ	一機能	図書・情 ビス	報サー 機能	
芸術	187	100.0%	142	75.9%	93	49.7%	26	13.9%	
学術教育	174	100.0%	90	51.7%	81	46.6%	47	27.0%	
交流	47	100.0%	23	48.9%	23	48.9%	10	21.3%	
集会その他活動	35	100.0%	13	37.1%	11	31.4%	0	0.0%	
芸術+学術教育	72	100.0%	49	68.1%	39	54.2%	19	26.4%	
								E	4 -

表 24 類型毎の施設機能数別施設数・割合

集会宰機能 90 48.1% 124 71.3% 33 70.2% 29 82.9% 50.0% 36 芸術+交流 芸術+集会その他活動 100.0% 22 68.8% 23 71.9% 23 71.9% 32 28.1% 10 76.9% 30.8% 7.7% 11 84.6% 13 100.0% 4 1 22 100.0% 11 50.0% 59.1% 11 50.0% 17 77.3% 学術教育+交流 13 2 12.5% 13 81.3% 学術教育+集会その他活動 16 100.0% 6 37.5% 5 31.3% 交流+集会その他活動 芸術+学術教育+交流 19 100.0% 10 52.6% 36.8% 0 0.0% 10 52.6% 3 33.3% 7 77.8% 66.7% 5 55.6% 9 100.0% 6 芸術+学術教育+集会その他活動 4 100.0% 3 75.0% 2 50.0% 0 0.0% 3 75.0% 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 芸術+交流+集会その他活動 4 80.0% 60.0% 2 40.0% 2 40.0% 学術教育+交流+集会その他活動 5 100.0% 3 1 100.0% 0.0% 0.0% 0 0.0% 1 100.0% 芸術+学術教育+交流+集会その他活動 公民館関連機 生涯学習 スポーツ 宿泊関連機能 その他 関連機能 能 関連機能 芸術 23 12.3% 10.7% 6 3.2% 0 0.0% 18 9.6% 20 学術教育 50 28.7% 41 23.6% 15 8.6% 0.6% 17 9.8% 交流 10 21.3% 6 12.8% 6 12.8% 6 12.8% 2.1% 集会その他活動 0 0.0% 2.9% 1 2.9% 3 8.6% 2 5.7% 芸術+学術教育 17 23.6% 18 25.0% 4 5.6% 1.4% 3 4.2% 芸術+交流 8 25.0% 9.4% 3.1% 6.3% 3 9.4% 芸術+集会その他活動 2 15.4% 2 15.4% 2 15.4% 0 0.0% 1 7.7% 学術教育+交流 8 36.4% 31.8% 9.1% 0 0.0% 4 18.2% 12.5% 2 12.5% 学術教育+集会その他活動 25.0% 9 56.3% 6.3% 4 交流+集会その他活動 1 5.3% 10.5% 0 0.0% 0 0.0% 2 10.5% 芸術+学術教育+交流 4 44.4% 22.2% 11.1% 11.1% 11.1% 25.0% 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 1 25.0% 芸術+学術教育+集会その他活動 1 0 芸術+交流+集会その他活動 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 2 40.0% 0 0.0% 20.0% 0 0.0% 0 0.0% 学術教育+交流+集会その他活動 0 0.0% 1 100.0% 芸術+学術教育+交流+集会その他活動 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0%

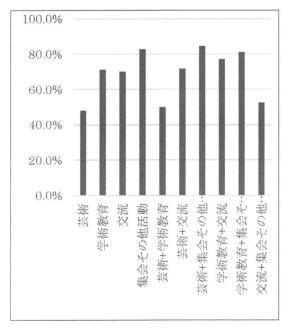


図 12 練習室 (リハーサル室) 機能

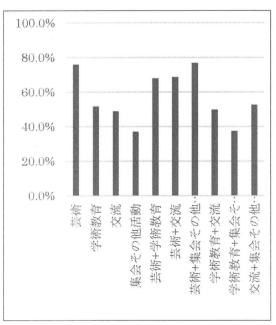
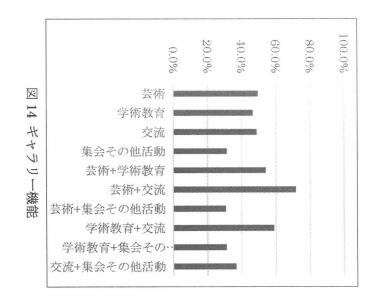


図 13 集会室機能



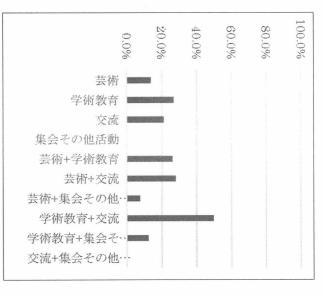


図 15 図書・情報サービス機能

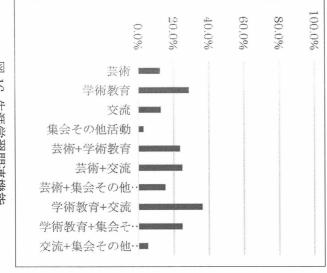


図 16 生涯学習関連機能

4-3. 複数目的型施設と施設機能

4-3-1. 施設機能数の経年変化

既述の既往研究における調査票からデータを引用しての分析を行う。

用いるデータは調査票の設問に示される10の施設機能(1.ホール機能、2.練習室(リハーサル室)機能、3.ギャラリー機能、4. 図書・情報サービス機能、5. 集会室機能、6. 生涯学習関連機能、7. 公民館関連機能、8. スポーツ関連機能、9. 宿泊関連機能、10. その他)の有無についてのものである。そのうちホール機能は対象施設全てに含まれるものとして、残りの施設機能の保有施設数を年代別に集計した(表 25)。

機能数 1 は 1950・60 年代から年代を追って 39.6%、26.8%、29.6%、22.9%、20.8%と概 ね減少する傾向である。

機能数 2 は 1950・60 年代から年代を追って 35.8%、25.0%、16.0%と減少し、1990 年代 で 28.0%と増加し、2000・10 年代に 21.5%と減少する。

機能数 3 は 1950・60 年から年代を追って 17.0%、30.4%、35.8%と増加し、1990 年代以降 29.7%、25.1%と減少する。

機能数 4 は 1950・60 年代から年代を追って 5.7%、8.9%、7.4%、8.5%、18.3%と概ね増加する傾向である。

機能数 5 は 1950・60 年代から年代を追って 1.9%、3.6%、6.2%、7.6%、7.2%と増加する。

機能数 6 は 1950・60 年代から 0.0%、5.4%、4.9%、3.4%、5.0%と推移する。機能数 7 は 1950・60 年代から 1990 年代まで 0.0%、2000・10 年代で 2.2%である。

総じてみれば、機能数1の施設割合は年代を追って減少傾向で、それ以外のものがそれに対応し増加傾向であり、後者についてはなかでも機能数4以上の施設割合の増加が明確である。

				2	1 1 4/9 4/4	154174110	,,, ,,,,,				
		1950-	60年代	1970	年代	1980	年代	1990	年代	2000-	10年代
	1	21	39.6%	15	26.8%	24	29.6%	27	22.9%	58	20.8%
	2	19	35.8%	14	25.0%	13	16.0%	33	28.0%	60	21.5%
	3	9	17.0%	17	30.4%	29	35.8%	35	29.7%	70	25.1%
機能数	4	3	5.7%	5	8.9%	6	7.4%	10	8.5%	51	18.3%
	5	1	1.9%	2	3.6%	5	6.2%	9	7.6%	20	7.2%
	6	0	0.0%	3	5.4%	4	4.9%	4	3.4%	14	5.0%
	7	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	2.2%
合計	-	53	100.0%	56	100.0%	81	100.0%	118	100.0%	279	100.0%

表 25 年代別施設機能数・割合

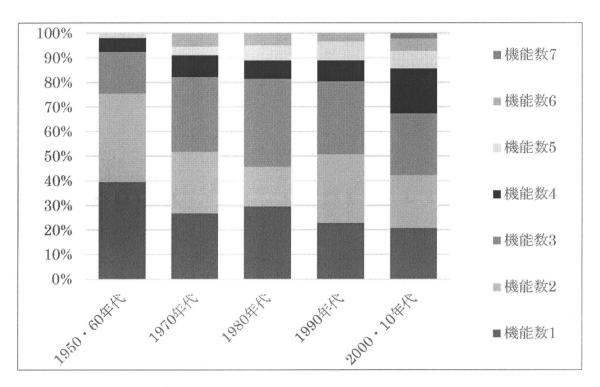


図 17 施設機能数の経年変化

4-3-2. 目的数と施設機能数

ここでは目的数と施設機能数の関係をみる。目的数と施設機能数の各組合せに該当する施設数を年代毎に図 18~22 に示す。以下、目的数と施設機能数の組合せを [目的数,施設機能数]のように表記することとする。

1950・60 年代は[1,0]が 1、[1,1]が 20、[1,2]が 11、[1,3]が 6、[1,4]が 3、[1,5]が 1、[2,0]が 2、[2,1]が 1、[2,2]が 8、[2,3]が 3 である(図 18)。

1970 年代は 1950・60 年代と比べると[1,0]が 3、[1,2]が 12、[1,3]が 13、[1,5]が 2、[2,3]が 4 と増加し、逆に[1,1]が 14、[2,0]が 1、[2,2]が 2 と減少している。また、新たに[1,6]が 3、[2,4]が 3 生じている(図 19)。

1980 年代は 1970 年代と比べると[1,1]が 20、[1,3]が 17、[1,4]が 5、[1,5]が 3、[1,6]が 4、[2,1]が 4、[2,2]が 6、[2,3]が 11 と増加し、逆に[1,2]が 7、[2,4]が 1 と減少している。また、新たに[2,5]が 1、[3,3]が 1、[3,5]が 1 生じている(図 20)。

1990年代と1980年代を比べると[1,0]が8、[1,2]が23、[1,3]が23、[1,4]が7、[1,5]が9、[2,0]が2、[2,1]が7、[2,2]が8、[2,4]が3、[3,3]が4と増加し、逆に[1,1]が19、[1,6]が1、[2,3]が8と減少している。また、[2,5]と[3,5]がなくなり、新たに[2,6]が3、[3,1]が1、[3,2]が1、[4,2]が1生じている(図21)。

2000・10 年代と 1990 年代を比べると[1,0]が 18、[1,1]が 42、[1,2]が 39、[1,3]が 51、[1,4]が 35、[1,6]が 6、[2,0]が 10、[2,1]が 13、[2,2]が 19、[2,3]が 19、[2,4]が 14、[3,1]が 3、[3,2]が 2 と増加している。また、[3,3]と[4,2]がなくなり、新たに[2,5]が 9、[2,7]が 3、[3,4]が 2、[3,5]が 2、[3,6]が 1 生じている(図 22)。

全年代を通してみると、目的数と施設機能数各々の多い施設の増加傾向がうかがえ、施設機能数が増えると目的数が増えるという比例的な関係をみることができる。



図 18 目的数・施設機能数別該当施設数(1950・60年代)

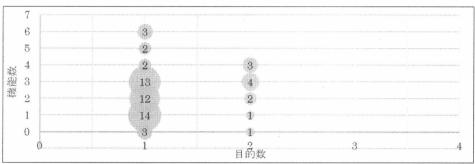


図 19 目的数・施設機能数別該当施設数(1970年代)

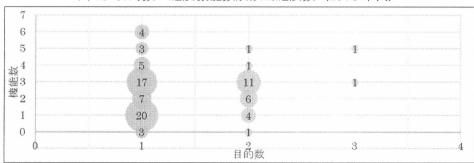


図 20 目的数・施設機能数別該当施設数(1980年代)

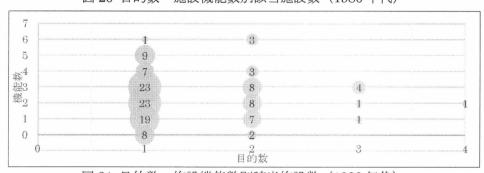


図 21 目的数・施設機能数別該当施設数 (1990 年代)

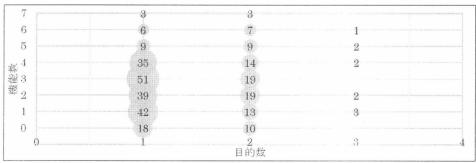


図 22 目的数・施設機能数別該当施設数(2000・10年代)

4-4. 複数目的型施設と複合

4-4-1. 複合施設と併設、同居施設

施設の複合について、既述の既往研究における調査票からデータを引用しての分析を行う。用いるのは併設施設と同居施設の有無に関するものである。併設施設とは「同一棟・敷地に設けられた施設で、本体施設とは経理が異なるが、相互に運営上の連携を持っている施設」、同居施設とは「同一棟・敷地に設けられた施設で、本体施設とは経理が異なり、かつ運営上の連携もない施設」のことである。

ここでは併設施設、同居施設のどちらか、または双方を有する施設を併せて「複合施設」とする。また複合していない本体のみのものを「ホール単独施設」、併設施設を有する施設を「併設施設保有施設」、同居施設を有する施設を「同居施設保有施設」とする。

以降、「ホール単独施設」「複合施設」の2つ、あるいはその後者を「併設施設保有施設」「同居施設保有施設」に区分した場合の3つを単独・複合類型として用いる。ここで、「併設施設保有施設」「同居施設保有施設」の両者の総数を合計しても「複合施設」の総数と合致しないことに注意が必要である。そこでの合致のために区分をさらに分けて対応する施設数を集計したものが表26である。

636 施設中「ホール単独施設」「複合施設」はそれぞれ 290(45.6%)、346(54.4%)であり、3 類型でみた場合「併設施設保有施設」「同居施設保有施設」が 233(36.6%)、177 (27.8%)である。

表 26 複合類型別対象施設数

	ホール単独施設	25	90		
	併設施設のみを有する施設	169		636	
複合施設	同居施設のみを有する施設	113	346	030	
	同居施設と併設施設の双方を有する施設	64			

4-4-2. 複数目的型施設と複合の関係の概況

各単独・複合類型に該当する施設数および割合を年代毎に集計したのが表 27、その年代毎の割合について図化したのが図 23~図 26 である。

「ホール単独施設」(図 23) と「複合施設」(図 24) の 2 類型でみた場合、1950・60、1980 年代に両者はほぼ同割合となるが、それを含めて先にみた全年代をまとめてみた両類型の割合とほぼ同程度で推移している。

傾向を認められるのは「併設施設保有施設」であり、1950・60 年代に 28%、次ぐ 1970 年代に 38%と増加し、1980 年代と 1990 年代で 33%、2000・10 年代で 40%に増加する。全体としては概ね増加傾向とみることができる(図 25)。

「同居施設保有施設」は 1950・60 年代に 28%、次ぐ 1970 年代に 33%と増加するが、以降 31%、31%と推移し、2000・10 年代に 24%と減少する。全体としては 1970 年代以降概ね減少傾向とみることができる(図 26)。

以上の施設類型の経年変化と「複数目的型」の経年変化(3-2.)を併せてみると、「複数目的型」の「併設施設保有施設」の経年変化において年代毎の増減までは一致しないものの共に増加傾向である。

併設施設はその定義に示される「相互に運営上の連携を持っている」点において本体施設との関係性が強く、その内容が設置目的に含まれることにより目的数が増加することは考えられる。

1950・60年代 1970年代 1980年代 1990年代 2000 - 10年代 分析対象施設 60 85 128 308 57 ホール単体 28 49% 27 45% 42 49% 57 45% 136 44% 複合施設 56% 28 49% 33 55% 43 51% 71 55% 171 併設施設保有施設 16 28% 23 38% 28 33% 42 33% 124 40% 同居施設保有施設 16 20 33% 26 28% 31% 31% 75 24% 各年代の分析対象施設数に対する割合

表 27 単独・複合類型の年代別施設数・割合

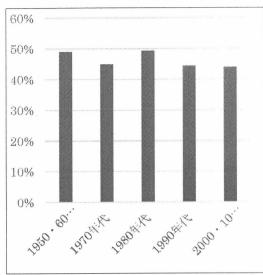


図 23 ホール単独施設

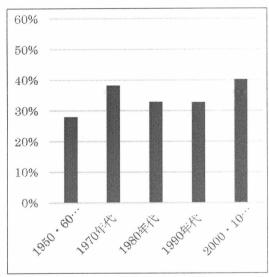


図 25 併設施設保有施設

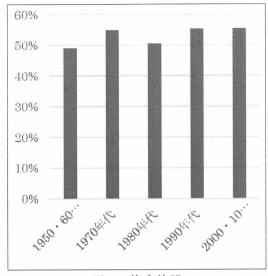


図 24 複合施設

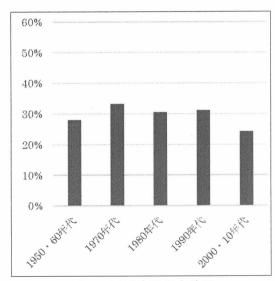


図 26 同居施設保有施設

4-4-3. 併設施設数の経年変化

対象 636 施設について併設施設数別年代別に集計した結果が表 28、その年代毎の割合について図化したのが図 27 である。ここでの年代とは、各施設の現行条例制定年に基づくものである。

併設施設数 1 の施設は 1950・60 年代から年代を追って 87.5%、78.3%、71.4%、66.7%と 1990 年代まで減少し、2000・10 年代に 75.0%と増加に転じる。

併設施設数 2 ではそれとは逆に 1950・60 年代から年代を追って 12.5%、17.4%、17.9%、26.2%と 1990 年代まで増加し、2000・10 年代に 14.5%と減少に転じる。

併設施設数 3 では 1950・60 年代と 1970 年代は 0.0%、1980 年代以降は 10.7%、7.1%、7.3%と推移する。

併設施設数 4 については、2000・10 年代に出現し、3.2%である。併設施設数 5 では 1970 年代に既に存在し 4.3%である。

3C 20 C/3 7/7 R C/2 R											
1950・60年代		1970年代		1980	1980年代		1990年代		2000・10年代		
分析対象施設	57		60		8	85		128		308	
ホール単体	28	49%	27	45%	42	49%	57	45%	136	44%	290
複合施設	28	49%	33	55%	43	51%	71	55%	171	56%	346
併設施設保有施設	16	28%	23	38%	28	33%	42	33%	124	40%	233
同居施設保有施設	16	28%	20	33%	26	31%	40	31%	75	24%	177
			***************************************				各年代の分析対象施設数に対する				

表 28 年代別併設施設数·割合

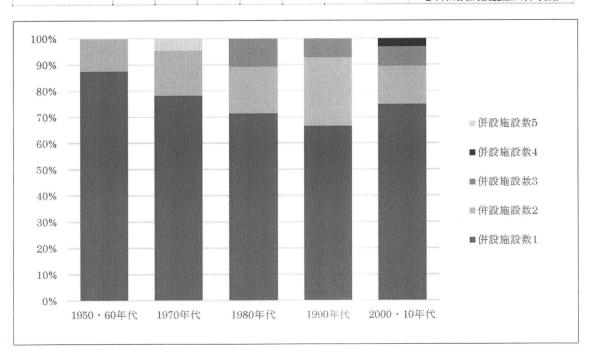


図 27 併設施設数の経年変化

4-4-4. 目的数と併設施設数

ここでは目的数と併設施設数の関係をみる。目的数と併設施設数の各組合せに該当する施設数を年代毎に図 28~32 に示す。以下、目的数と併設施設数の組合せを[目的数,併設施設数]のように表記することとする。

1950・60 年代は[1,0]が 29、[1,1]が 11、[1,2]が 2、[2,0]が 11、[2,1]が 3 である(図 28)。

1970年代は1950・60年代に比べると[1,0]と[1,1]、[1,3]がそれぞれ31、13、4と増加し、逆に[2,0]と[2,1]がそれぞれ6、5と減少している。また、新たに[1,5]が1生じている(図29)。

1980 年代は 1970 年代に比べると[1,0]と[2,0]、[2,1]がそれぞれ 42、14、7 と増加し、逆に[1,1]と[1,2]がそれぞれ 12、3 と減少している。また、新たに[1,3]が 2、[1,5]が 1、[2,2]が 2、[2,3]が 1、[3,0]が 1、[3,1]が 1 生じている(図 30)。

1990年代は1980年代に比べると[1,0]が66、[1,1]が16、[1,2]が6、[2,0]が16、[2,1]が11、[2,2]が3、[3,0]が3と増加している。また、新たに[3,2]が2生じている(図31)。

2000・10 年代は 1990 年代に比べると[1,0]が 118、[1.1]が 66、[1,2]が 9、[1,3]が 7、[2,0]が 61、[2,1]が 22、[2,2]が 8、[3,0]が 4、[3,1]が 4 と増加し、逆に[3,2]が 1 と減少している。また、新たに[1,4]が 2、[1,6]が 1、[2,4]が 2、[3,3]が 1 生じている(図 32)。

全年代を通してみると、目的数と併設施設数各々の多い施設の増加傾向がうかがえる が、併設施設数が増えると目的数が増えるという比例的な関係ではない。



図 28 目的数・併設施設数別該当施設数(1950・60年代)

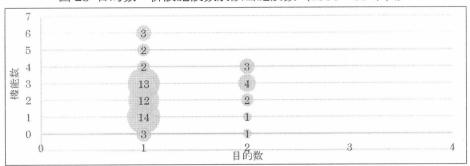


図 29 目的数・併設施設数別該当施設数(1970年代)

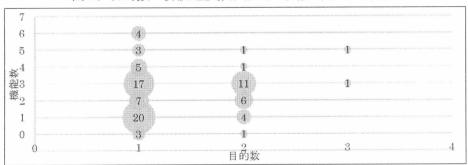


図 30 目的数·併設施設数別該当施設数(1980年代)

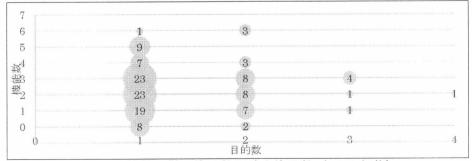


図 31 目的数·併設施設数別該当施設数(1990年代)

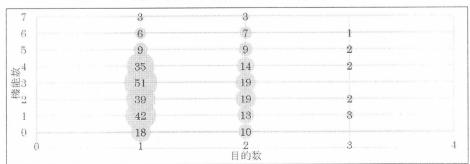


図 32 目的数・併設施設数別該当施設数(2000・10年代)

第5章 施設類型と運営の実態

5-1. 分析方法

5-2. 管理運営主体の種別

5-3. 計画性

5-4. 事業

5-1. 分析方法

本章では施設類型と運営実態とがどのように対応しているかをみる。

運営の実態としては、既往研究における調査票の設問より、管理運営主体の種別、計画性、 事業を取り上げる。まず類型と管理運営主体の種別の関係を、次に類型と計画性、最後に類型と事業の関係をみる。対象施設数は前章を継いで636である。

なお、ここでの調査票のデータが平成 19 年度のものであり、運営の実態については建築の実態に対して安定性が低いことに注意が必要である。

5-2. 管理運営主体の種別

ここでは類型と管理運営主体の種別の関係をみる。管理運営主体の種別については指定管理者の場合と直営の場合を分けてみていく。

まず指定管理者の場合をみる。

調査票の指定管理者の組織の種別を問う設問の回答を類型毎に集計し結果を表 29 に、その類型毎の割合を図化し図 33 に示す。

単一目的型では「財団法人等自治体出資外郭団体(単独)」の割合が「芸術」型から「交流」型まで類型の序列に従って 74.1%、67.1%、50.0%と減少し、「集会その他活動」型で 61.5%と増加している。全体としては「芸術」型から類型の序列に従って概ね減少する傾向である。

「財団法人等自治体出資外郭団体(単独)」はかつて地方公共団体が設立し管理運営を 委託してきた団体であることから、「地方公共団体の文化政策の運営主体としての立場も 持っていたはずである。^{注7)}」そのような背景から上述のような結果が得られたと考えられ る。

[注釈]

注 7) 根木昭, 佐藤良子. 公共ホールと劇場・音楽堂法 文化政策の法的基盤Ⅱ. 水曜社, 2013, p20

表 29 管理運営組織の種別(指定管理)

		等自治体出 体(単独)		治体が設立 団体(単独)	NPO法	人(単独)		
芸術	86	74.1%	4	3.4%	4	3.4%		
学術教育	49	67.1%	2	2.7%	3	4.1%		
交流	15	50.0%	2	6.7%	111	3.3%		
集会その他活動	8	61.5%	0	0.0%	2	15.4%		
芸術+学術教育	13	28.3%	12	26.1%	16	34.8%		
芸術+交流	11	28.9%	12	31.6%	14	36.8%		
芸術+集会その他活動	4	19.0%	7	33.3%	6	28.6%		
学術教育+交流	1	7.1%	5	35.7%	8	57.1%		
学術教育+集会その他活動	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%		
交流+集会その他活動	11	34.4%	7	21.9%	9	28.1%		
芸術+学術教育+交流	2	40.0%	1	20.0%	2	40.0%		
芸術+学術教育+集会その他活動	3	37.5%	2	25.0%	2	25.0%		
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
学術教育+交流+集会その他活動	1	25.0%	0	0.0%	3	75.0%		
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%		
		等民間営利 (単独)	そ	の他	共同	企業体	É	計
芸術	9	7.8%	3	2.6%	10	8.6%	116	100.0%
学術教育	10	13.7%	6	8.2%	3	4.1%	73	100.0%
交流	6	20.0%	3	10.0%	3	10.0%	30	100.0%
集会その他活動	2	15.4%	1	7.7%	0	0.0%	13	100.0%
芸術+学術教育	0	0.0%	1	2.2%	4	8.7%	46	100.0%
芸術+交流	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	38	100.0%
芸術+集会その他活動	1	4.8%	0	0.0%	3	14.3%	21	100.0%
学術教育+交流	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	100.0%
学術教育+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	2	100.0%
交流+集会その他活動	0	0.0%	2	6.3%	3	9.4%	32	100.0%
芸術+学術教育+交流	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	8	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	100.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	2	100.0%

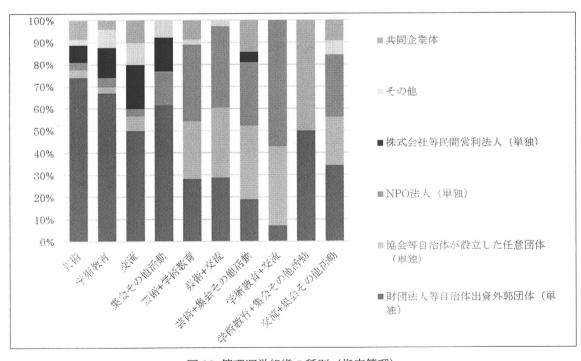


図 33 管理運営組織の種別(指定管理)

次に直営の場合をみる。

調査票の管理運営組織の種別を問う設問の回答を類型毎に集計し結果を表 30 に、その 類型毎の割合を図化し図 34 に示す。

単一目的型では「教育委員会」の割合が「芸術」型から類型の序列に従って 79.4%、77.6%、57.1%、50.0%と減少している。

「教育基本法は、教育を通じての文化政策ないし文化芸術振興の基本に係る法的な淵源といえ^{注8)}」、また「文化芸術振興基本法が 2001 年 11 月 30 日、第 153 臨時国会において成立し、12 月 7 日に公布、施行された。(中略) それまで、文化に係る基本法制としては明確な法律がなかったため、旧教育基本法(昭和 22 年法律第 25 号)が、(中略)文化政策ないし文化芸術振興の基本に関する法的な淵源となっていたと見ることができる。 ^{注9)}。」というような公立文化ホールと関連する法制の状況と関連して、指定管理者制度が導入される以前は「教育委員会」が直営で公立文化ホールの管理運営を行っていることが多く、そういった公立文化ホールの状況が上述の結果に反映していると考えられる。

[注釈]

注8)根木昭,佐藤良子.文化芸術振興の基本法と条例文化政策の法的基盤 I.水曜社,2013,p11注9)根木昭,佐藤良子.文化芸術振興の基本法と条例文化政策の法的基盤 I.水曜社,2013,p10

0.0%

	教育	委員会	教育委員	員会以外	合計		
芸術	54	79.4%	14	20.6%	68	100.0%	
学術教育	76	77.6%	22	22.4%	98	100.0%	
交流	8	57.1%	6	42.9%	14	100.0%	
集会その他活動	10	50.0%	10	50.0%	20	100.0%	
芸術+学術教育	35	85.4%	6	14.6%	41	100.0%	
芸術+交流	4	40.0%	6	60.0%	10	100.0%	
芸術+集会その他活動	1	50.0%	1	50.0%	2	100.0%	
学術教育+交流	8	66.7%	4	33.3%	12	100.0%	
学術教育+集会その他活動	6	42.9%	8	57.1%	14	100.0%	
交流+集会その他活動	3	60.0%	2	40.0%	5	100.0%	
芸術+学術教育+交流	3	75.0%	1	25.0%	4	100.0%	
芸術+学術教育+集会その他活動	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
学術教育+交流+集会その他活動	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%	
		1		1			

0.0%

芸術+学術教育+交流+集会その他活動

表 30 管理運営組織の種別

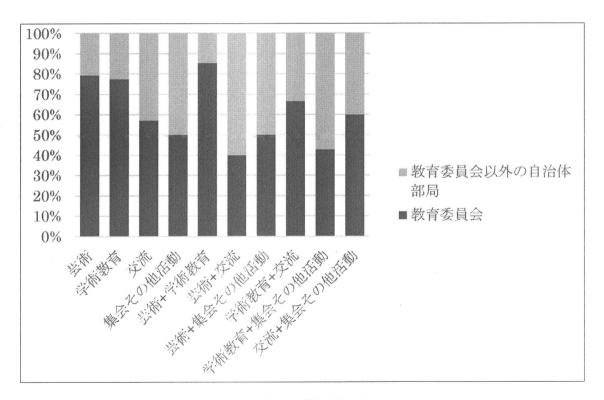


図 34 管理運営組織の種別

以上、管理運営主体の種別についてみた。最後に分析結果をまとめる。

- ・指定管理者の場合「財団法人等自治体出資外郭団体(単独)」の割合が「芸術」型から 類型の序列に従って減少している。
- ・直営の場合「教育委員会」の割合が「芸術」型から類型の序列に従って減少している。

5-3. 計画性

ここでは類型と施設の計画性の関係をみる。

調査票には設置目的を達成するための計画の期間について、長期計画 (10 年以上)、中期計画 (3 年から 6 年程度)、年次計画の制定の有無を回答する設問がある。以下、各計画期間と類型の関係をみていく。

まず長期計画と類型の関係をみる。

調査票の長期計画制定の有無を問う設問の回答を類型毎に集計し表 31 に示す。また、その類型毎の割合について図化したのが図 35 である。

全体の割合をみると「定めていない」の割合が全類型で「定めている」を大きく上回っている。「定めている」の割合に着目すると、目的数1では「芸術」型から類型の序列に従って8.7%、7.2%、2.1と減少し、「集会その他活動」型で2.9%と若干増加する。全体としては概ね減少する傾向である。

表 31 長期計画

	定めて	ている	定めて	いない	合	計
芸術	16	8.7%	167	91.3%	183	100.0%
学術教育	12	7.2%	155	92.8%	167	100.0%
交流	1	2.1%	46	97.9%	47	100.0%
集会その他活動	1	2.9%	34	97.1%	35	100.0%
芸術+学術教育	7	10.0%	63	90.0%	70	100.0%
芸術+交流	3	9.4%	29	90.6%	32	100.0%
芸術+集会その他活動	0	0.0%	13	100.0%	13	100.0%
学術教育+交流	1	4.5%	21	95.5%	22	100.0%
学術教育+集会その他活動	2	12.5%	14	87.5%	16	100.0%
交流+集会その他活動	1	5.6%	17	94.4%	18	100.0%
芸術+学術教育+交流	1	11.1%	8	88.9%	9	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	0	0.0%	3	100.0%	3	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	5	100.0%	5	100.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%

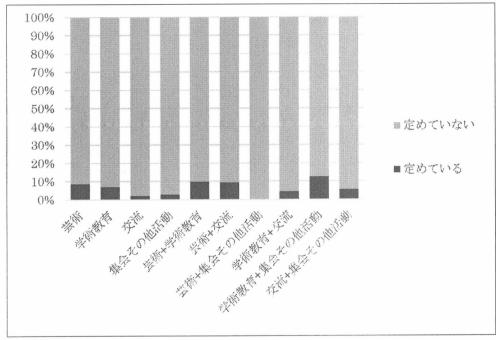


図 35 長期計画

次に、中期計画と類型の関係をみる。

調査票の中期計画制定の有無を問う設問の回答を類型毎に集計し表 32 に示す。また、その類型毎の割合について図化したのが図 36 である。

全体の割合をみると「芸術+学術教育+集会その他活動」型以外の全ての類型で「定めていない」の割合が「定めている」を上回っている。

「定めている」の割合に着目すると、単一目的型では「芸術」型から類型の序列に従って 28.6%、20.4%、14.6%、6.7%と減少している。

	定めて	ている	定めて	いない	슽	計
芸術	46	28.6%	115	71.4%	161	100.0%
学術教育	30	20.4%	117	79.6%	147	100.0%
交流	6	14.6%	35	85.4%	41	100.0%
集会その他活動	2	6.7%	28	93.3%	30	100.0%
芸術+学術教育	12	19.7%	49	80.3%	61	100.0%
芸術+交流	13	43.3%	17	56.7%	30	100.0%
芸術+集会その他活動	3	25.0%	9	75.0%	12	100.0%
学術教育+交流	5	23.8%	16	76.2%	21	100.0%
学術教育+集会その他活動	1	7.7%	12	92.3%	13	100.0%
交流+集会その他活動	4	23.5%	13	76.5%	17	100.0%
芸術+学術教育+交流	2	28.6%	5	71.4%	7	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	2	50.0%	2	50.0%	4	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	4	100.0%	4	100.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%

表 32 中期計画

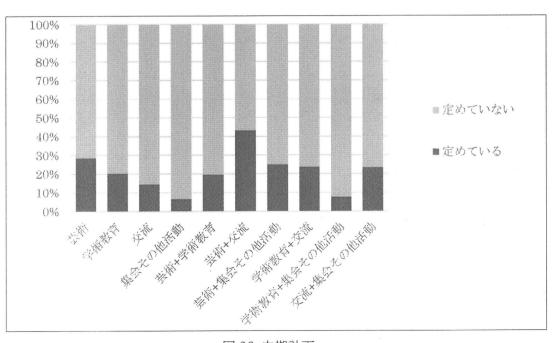


図 36 中期計画

最後に、年次計画と類型の関係をみる。

調査票の年次計画制定の有無を問う設問の回答を類型毎に集計し表 33 に示す。また、その類型毎の割合について図化したのが図 37 である。

全体の割合をみると「芸術+学術教育+集会その他活動」型以外の全ての類型で「定めていない」の割合が「定めている」を上回っている。

「定めている」の割合に着目すると、単一目的型では「芸術」型から類型の序列に従って 56.3%、35.3%と減少し、「交流」型で 44.2%に増加、「集会その他活動」型で 21.9%に減少する。

	定め	ている	定めていない		合計	
芸術	94	56.3%	73	43.7%	167	100.0%
学術教育	55	35.3%	101	64.7%	156	100.0%
交流	19	44.2%	24	55.8%	43	100.0%
集会その他活動	7	21.9%	25	78.1%	32	100.0%
芸術+学術教育	24	37.5%	40	62.5%	64	100.0%
芸術+交流	22	73.3%	8	26.7%	30	100.0%
芸術+集会その他活動	7	53.8%	6	46.2%	13	100.0%
学術教育+交流	7	33.3%	14	66.7%	21	100.0%
学術教育+集会その他活動	0	0.0%	15	100.0%	15	100.0%
交流+集会その他活動	7	41.2%	10	58.8%	17	100.0%
芸術+学術教育+交流	3	42.9%	4	57.1%	7	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	3	75.0%	1	25.0%	4	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	1	25.0%	3	75.0%	4	100.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%

表 33 年次計画

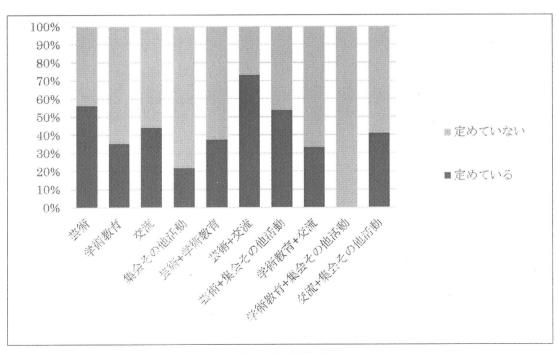


図 37 年次計画

以上、施設の計画性についてみた。最後に分析結果をまとめる。

- ・計画期間が長くなるほど、「定めている」の割合が低い。
- ・長期計画と中期計画では「定めていない」の割合が「定めている」を大きく上回る。年次計画においてもほとんどが「定めていない」の割合が「定めている」を上回る。
- ・長期計画と中期計画では「芸術」型から類型の序列に従って「定めている」の割合が減少する。

5-4. 事業

本節では類型と事業の関係をみる。

公立文化ホールの事業は大きく分けて「自主事業」と「貸館事業」の2つがある。「自主事業」とは当該施設が主催となって企画・運営する事業であり、「貸館事業」とは当該施設は場所を貸すのみで企画・運営には関与しない事業である。調査票ではこれに当該施設が共催となって企画・運営する事業である「共催事業」を加え、各事業の事業数をみる。

調査票の自主・共催・貸館事業各々の事業数を問う設問の回答より一施設当たりの事業数の平均を類型毎に集計し表 34 に示す。また、その類型毎の割合について図化したのが図 38 である。

まず全類型の各事業の割合をみると、「貸館事業」が他の二つの事業に比べて圧倒的に多く実施されていることが分かる。目的数 1 と 2 においてはどの類型でも貸館事業が 9 割を超えている。

「自主事業」の割合に着目すると、単一目的型では「芸術」型の 4.2%から類型の序列に従って 1.0%、2.1%、0.5%と推移する。全体としては概ね減少する傾向である。複数目的型の目的数 2 では「芸術+交流」型が 6.2%と最も高い割合を示した。

「共催事業」の割合に着目すると、単一目的型では「芸術」型の 1.4%から類型の序列に従って 1.1%、0.5%、0.4%と減少する。複数目的型の目的数 2 では「芸術+交流」型が 2.6% と最も高い割合を示している。

0.0% 1600.0 100.0% 1600.0 100.0%

		双 04 事	木					
	自主事業		共催事業		貸館事業		合計	
芸術	37.1	4.2%	12.1	1.4%	827.3	94.4%	876.5	100.0%
学術教育	15.8	1.0%	17.6	1.1%	1510.0	97.8%	1543.3	100.0%
交流	30.2	2.1%	7.5	0.5%	1434.6	97.4%	1472.3	100.0%
集会その他活動	6.0	0.5%	4.3	0.4%	1148.1	99.1%	1158.4	100.0%
芸術+学術教育	6.5	0.9%	6.1	0.9%	701.4	98.2%	714.0	100.0%
芸術+交流	22.8	6.2%	9.6	2.6%	334.7	91.2%	367.2	100.0%
芸術+集会その他活動	6.0	2.1%	1.0	0.3%	281.0	97.6%	288.0	100.0%
学術教育+交流	23.9	1.5%	3.3	0.2%	1529.0	98.3%	1556.1	100.0%
学術教育+集会その他活動	15.5	0.6%	11.0	0.4%	2734.0	99.0%	2760.5	100.0%
交流+集会その他活動	5.6	0.4%	5.5	0.3%	1575.8	99.3%	1586.8	100.0%
芸術+学術教育+交流	8.8	8.7%	3.5	3.5%	88.0	87.8%	100.3	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	20.7	4.6%	48.0	10.7%	378.0	84.6%	446.7	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
学術教育+交流+集合その他活動	1.0	100.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	1.0	100.0%

0.0%

0.0

0.0

表 34 事業

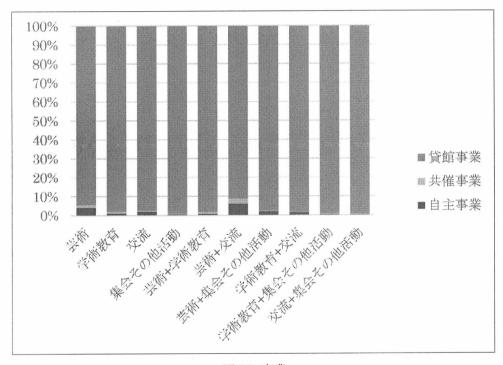


図 38 事業

以上、事業についてみた。最後に分析結果をまとめる。

芸術+学術教育+交流+集会その他活動

- ・全類型で貸館事業の割合が他の事業よりも圧倒的に高い。
- ・貸館事業の割合が「芸術」型から類型の序列に従って増加する。
- ・自主・共催事業を合わせた割合をみると「芸術」型から類型の序列に従って減少する。

第6章 総括

総括 今後の課題 謝辞

総括

以上、「公立文化ホール」の設置条例に示される設置目的に着目し、多様な「公立文化ホール」を類型化し、その総体としてのあり方を明らかにした。

その過程をあらためてみると、まず設置目的の条文中の目的を示す部分を〈対象〉と〈作用〉に分けて整理し、類型化を行った結果、「芸術」型、「学術教育」型、「交流」型、「集会その他活動」型の4つの類型を導いた。それら類型を「基盤類型」とし、設置目的の条文中に含まれる基盤類型の数を「目的数」とし、最後に基盤類型の組合せにより、公立文化ホールを15の類型を得た。さらに、それら類型のうち目的数1のものを「単一目的型」、目的が複数あるものを「複数目的型」とした。

導出した類型の経年変化をみた結果、単一目的型(目的数 1)では「芸術」型が 1990 年代までの増加傾向を示し、「集会その他活動」型は減少傾向を示した。複数目的型である目的数 2 では「芸術+学術教育」型が増加傾向を示した。次に単一・複数目的型の経年変化をみた結果、目的数 1 の単一目的型が年代を追って減少傾向、目的数 2 以上の複数目的型が増加傾向であり、公立文化ホールにおける近年の多様化が確認された。

次に施設類型と建築の実態がどのように対応しているかをみた。まず類型と施設機能の関係をみると、「芸術」型では創造的な活動が行われる練習室機能との関連性がみられた。「学術教育」型では学習活動に必要な図書・情報サービス機能と生涯学習関連機能との関連性がみられた。「集会その他活動」型では集会室機能との関連性がみられた。次に複数目的型の経年変化について施設機能との対応をみた結果、目的数と施設機能数の比例的な関係が明らかとなった。複数目的型の経年変化について施設の複合との対応をみた結果、複合施設の中でも併設施設保有施設との関連がうかがえ、目的数と併設施設数の関係をみた結果、明確な比例関係はみられなかった。

最後に施設類型の運営の実態がどのように対応しているかをみた。まず管理運営主体については、指定管理の場合「財団」の割合が「芸術」型から類型の序列に従って減少した。 直営の場合「教育委員会」の割合が「芸術」型から類型の序列に従って減少した。次に計画性については、計画期間が長いほど「定めている」の割合が低くなった。また、「定めている」施設の割合は「芸術」型から類型の序列に従って減少していた。各事業を比較すると全類型で貸館事業がほとんどを占めていた。自主事業の割合は「芸術」型から類型の序列に従っての減少傾向がみられた。

今後の課題

本研究では公立文化ホールの設置目的による類型化を行い、各類型のハード、ソフトについてみた。

設置目的による類型化の過程で〈作用〉についてさらに分析していくことでより精緻な 類型化を行えると考える。

各類型のハード、ソフトの傾向をみる過程では既往研究の調査票調査で得られたデータを参照したが、その調査票調査は平成 20 年度に実施されたものであるため、平成 19 年度のデータである。よって全国公立文化施設協会名簿などの最新の公立文化ホールの情報が掲載されているデータベースを用いる必要があると考える。

謝辞

本論文の審査をしていただきました三重大学大学院大月淳准教授、ならびに副査を引き受けていただいた浦山益郎教授、毛利志保助教授に御礼申し上げます。大月淳准教授には本研究を進めるにあたり、大変丁寧なご指導をいただきました。深く感謝しております。

また本年度研究室で共に学んだ江藤翔太さん、加藤早妃さん、十河圭佑さん、吉田有佑さんに、昨年度では石川郁弥さん、加藤拓之さんには研究データの入力や集計など様々な場面で助けていただきました。ここに感謝の意を表します。

最後に、以前から支えていただいている仲間に、学ぶ機会を与えてくれた両親に深くお礼 申し上げます。

> 2016年3月 鈴木友紀子

付録

ホール

ホールの経年変化

表 1 ホール数の経年変化

				_	794 - 11-11	1 2414				
	1950-	60年代	1970	1970年代		年代	1990	年代	2000-10年代	
ホール数1	44	80.0%	39	68.4%	39	48.1%	71	56.8%	209	72.1%
ホール数2	10	18.2%	16	28.1%	38	46.9%	40	32.0%	70	24.1%
ホール数3	0	0.0%	2	3.5%	4	4.9%	14	11.2%	11	3.8%
ホール数4	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	55	100.0%	57	100.0%	81	100.0%	125	100.0%	290	100.0%

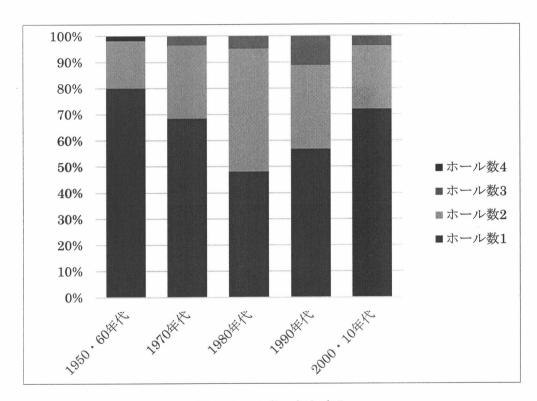


図1 ホール数の経年変化

表 2 ホール①の経年変化

	1950-	1950・60年代		1970年代		1980年代		1990年代		10年代		
講堂	14	25.0%	1	1.8%	0	0.0%	5	4.0%	11	3.8%		
プロセニアム形式ホール	29	51.8%	46	82.1%	61	75.3%	63	50.4%	179	61.7%		
コンサートホール	8	14.3%	7	12.5%	15	18.5%	30	24.0%	64	22.1%		
平土間型ホール(可変機構有り)	0	0.0%	0	0.0%	4	4.9%	21	16.8%	26	9.0%		
平土間型ホール(可変機構有無し)	5	8.9%	2	3.6%	1	1.2%	6	4.8%	10	3.4%		
合計	56	100.0%	56	100.0%	81	100.0%	125	100.0%	290	100.0%		

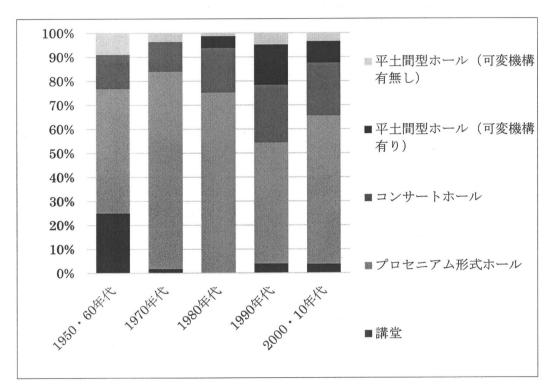


図2 ホール①の経年変化

表 3 ホール②の経年変化

	1950-	60年代	1970年代		1980年代		1990年代		2000-	10年代		
講堂	0	0.0%	2	11.8%	1	2.4%	6	11.3%	2	2.5%		
プロセニアム形式ホール	6	54.5%	6	35.3%	17	40.5%	12	22.6%	27	33.3%		
コンサートホール	2	18.2%	2	11.8%	5	11.9%	17	32.1%	11	13.6%		
平土間型ホール(可変機構有り)	0	0.0%	3	17.6%	7	16.7%	10	18.9%	13	16.0%		
平土間型ホール(可変機構有無し)	3	27.3%	4	23.5%	12	28.6%	8	15.1%	28	34.6%		
合計	11	100.0%	17	100.0%	42	100.0%	53	100.0%	81	100.0%		

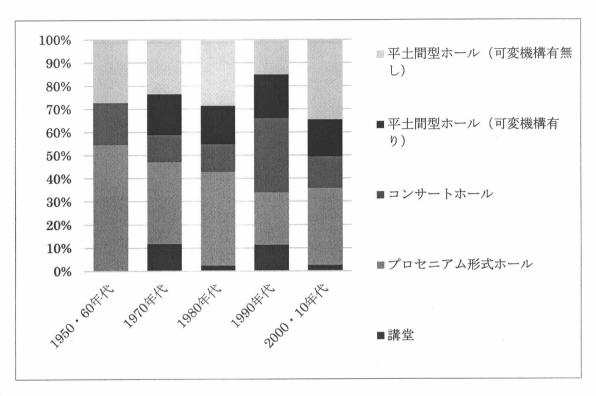
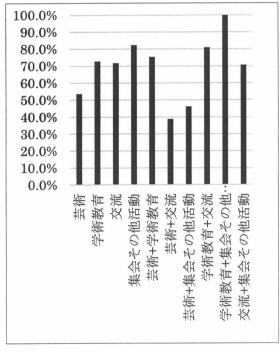


図3 ホール②の経年変化

施設類型とホール

表 4 ホール数・類	[型別集計結果
------------	----------------

	ホー	ホール数1		ル数2	ホー	ル数3	ホール数4		合計	
芸術	96	53.6%	68	38.0%	15	8.4%	0	0.0%	179	100.0%
学術教育	120	72.7%	41	24.8%	4	2.4%	0	0.0%	165	100.0%
交流	33	71.7%	8	17.4%	5	10.9%	0	0.0%	46	100.0%
集会その他活動	28	82.4%	6	17.6%	0	0.0%	0	0.0%	34	100.0%
芸術+学術教育	52	75.4%	17	24.6%	0	0.0%	0	0.0%	69	100.0%
芸術+交流	12	38.7%	16	51.6%	2	6.5%	1	3.2%	31	100.0%
芸術+集会その他活動	6	46.2%	5	38.5%	2	15.4%	0	0.0%	13	100.0%
学術教育+交流	17	81.0%	3	14.3%	1	4.8%	0	0.0%	21	100.0%
学術教育+集会その他活動	15	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	15	100.0%
交流+集会その他活動	12	70.6%	5	29.4%	0	0.0%	0	0.0%	17	100.0%
芸術+学術教育+交流	5	62.5%	3	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	8	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	3	75.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	4	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	2	40.0%	2	40.0%	1	20.0%	0	0.0%	5	100.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%





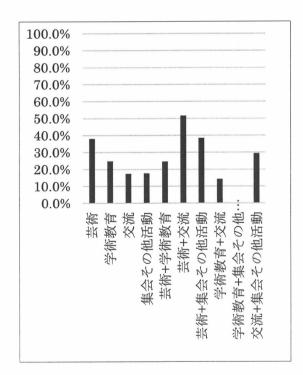


図 5 ホール数 2

表 5 ホール①の類型別ホール形式

表もれ がりの規主がれ パルス												
	講	堂		アム形式 ール	コンサー	トホール		型ホール 機構有り)		型ホール	₽	計
芸術	3	1.7%	116	64.8%	48	26.8%	9	5.0%	3	1.7%	179	100.0%
学術教育	5	3.0%	107	64.8%	33	20.0%	9	5.5%	11	6.7%	165	100.0%
交流	3	6.7%	18	40.0%	6	13.3%	14	31.1%	4	8.9%	45	100.0%
集会その他活動	11	32.4%	17	50.0%	6	17.6%	0	0.0%	0	0.0%	34	100.0%
芸術+学術教育	2	2.9%	51	73.9%	10	14.5%	4	5.8%	2	2.9%	69	100.0%
芸術+交流	2	6.5%	18	58.1%	8	25.8%	3	9.7%	0	0.0%	31	100.0%
芸術+集会その他活動	0	0.0%	10	76.9%	2	15.4%	0	0.0%	1	7.7%	13	100.0%
学術教育+交流	0	0.0%	14	66.7%	4	19.0%	2	9.5%	1	4.8%	21	100.0%
学術教育+集会その他活動	1	6.7%	9	60.0%	2	13.3%	1	6.7%	2	13.3%	15	100.0%
交流+集会その他活動	2	11.8%	9	52.9%	3	17.6%	3	17.6%	0	0.0%	17	100.0%
芸術+学術教育+交流	2	25.0%	4	50.0%	0	0.0%	2	25.0%	0	0.0%	8	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	1	25.0%	0	0.0%	4	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	3	60.0%	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%	5	100.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%

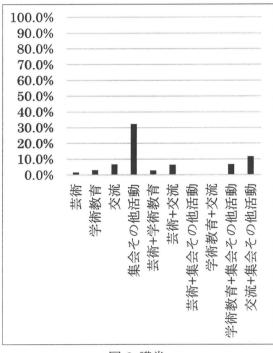


図6講堂

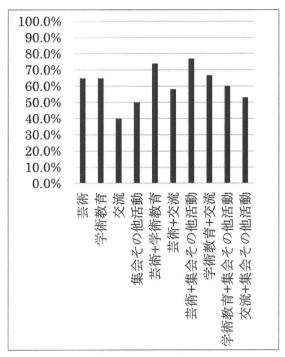


図7プロセニアム形式ホール

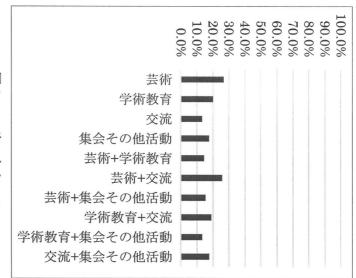


図8 コンサートホール

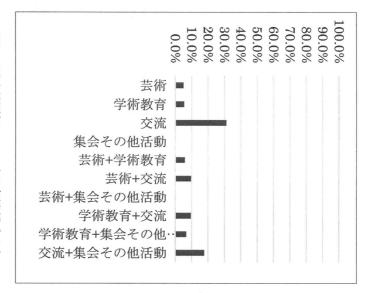


図 9 平土間型ホール(可変機構有り)

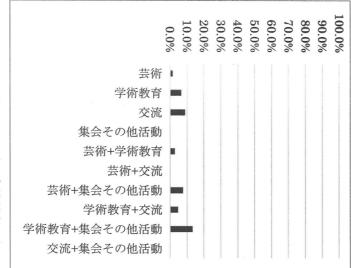


図 10 平土間型ホール (可変機構無し)

表 6 ホール②のホール形式

	講	堂		アム形式 ール	コンサー	トホール	Harrist Committee of the Committee of th	型ホール 機構有り)	SERVICE SERVICE REPORTS	型ホール構有無し)	£	計
芸術	2	2.4%	37	44.6%	15	18.1%	13	15.7%	16	19.3%	83	100.0%
学術教育	3	6.8%	14	31.8%	7	15.9%	6	13.6%	14	31.8%	44	100.0%
交流	2	16.7%	2	16.7%	3	25.0%	2	16.7%	3	25.0%	12	100.0%
集会その他活動	-1	16.7%	0	0.0%	2	33.3%	0	0.0%	3	50.0%	6	100.0%
芸術+学術教育	1	5.9%	5	29.4%	2	11.8%	5	29.4%	4	23.5%	17	100.0%
芸術+交流	1	5.3%	3	15.8%	7	36.8%	5	26.3%	3	15.8%	19	100.0%
芸術+集会その他活動	1	14.3%	3	42.9%	0	0.0%	1	14.3%	2	28.6%	7	100.0%
学術教育+交流	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	4	100.0%
学術教育+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
交流+集会その他活動	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	3	60.0%	5	100.0%
芸術+学術教育+交流	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	3	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%	3	100.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

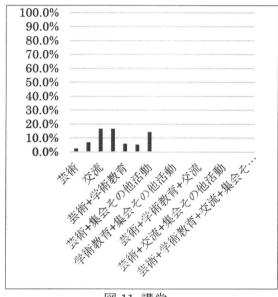


図 11 講堂

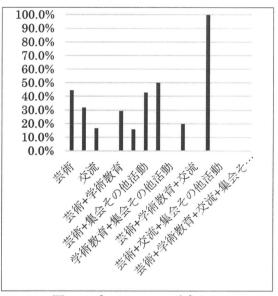


図 12 プロセニアム形式ホール

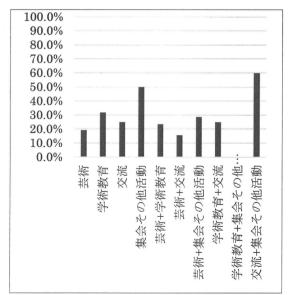


図 13 平土間型ホール (可変機構無し)

館長の種別

館長の種別の経年変化

1950・60年代 1970年代 1980年代 1990年代 2000 • 10年代 芸術文化系の民間人 5.4% 3.4% 5.1% 12 9.8% 21 7.2% 3 15.3% 19.0% 13.9% 11.6% 芸術文化系以外の民間人 5 8.9% 15 17 34 9 40.2% 160 54.6% 現役の行政職員 26 46.4% 34 57.6% 33 41.8% 49 退職行政職員 17 30.4% 8 13.6% 17 21.5% 30 24.6% 54 18.4% その他 5 8.9% 6 10.2% 10 12.7% 14 11.5% 24 8.2% 合計 56 100.0% 100.0% 79 100.0% 122 100.0% 59 293 100.0%

表 7 館長の種別の経年変化

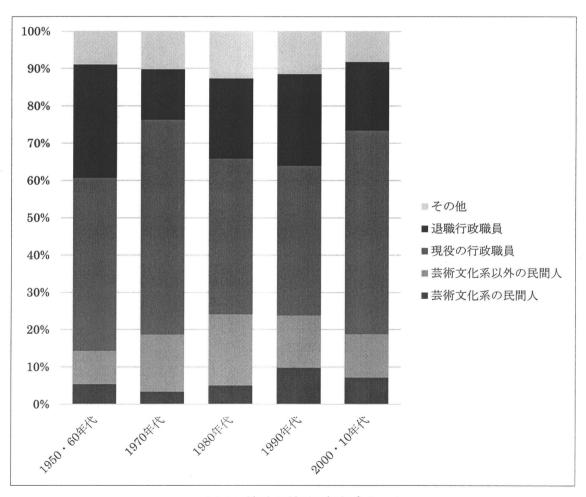


図 14 館長の種別の経年変化

施設類型と館長の種別

表 8 施設類型と館長の種別

		化系の民 引人		化系以外 2間人	現役の	行政職員
芸術	21	11.5%	19	10.4%	83	45.4%
学術教育	5	3.1%	19	11.9%	85	53.5%
交流	3	6.8%	13	29.5%	15	34.1%
集会その他活動	1	2.9%	4	11.8%	20	58.8%
芸術+学術教育	4	5.8%	7	10.1%	44	63.8%
芸術+交流	6	19.4%	2	6.5%	13	41.9%
芸術+集会その他活動	0	0.0%	5	38.5%	5	38.5%
学術教育+交流	1	4.5%	2	9.1%	15	68.2%
学術教育+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	10	66.7%
交流+集会その他活動	1	5.3%	7	36.8%	3	15.8%
芸術+学術教育+交流	0	0.0%	1	11.1%	6	66.7%
芸術+学術教育+集会その他活動	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	3	60.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	退職行	政職員	そ(の他	Ê	計
芸術	46	25.1%	14	7.7%	183	100.0%
学術教育	28	17.6%	22	13.8%	159	100.0%
交流	8	18.2%	5	11.4%	44	100.0%
集会その他活動	8	23.5%	1	2.9%	34	100.0%
芸術+学術教育	12	17.4%	2	2.9%	69	100.0%
芸術+交流	5	16.1%	5	16.1%	31	100.0%
芸術+集会その他活動	1	7.7%	2	15.4%	13	100.0%
					00	100.0%
学術教育+交流	3	13.6%	1	4.5%	22	100.070
学術教育+交流 学術教育+集会その他活動	3	13.6%	2	13.3%	15	100.0%
学術教育+集会その他活動 交流+集会その他活動 芸術+学術教育+交流	3	20.0%	2	13.3%	15	100.0%
学術教育+集会その他活動 交流+集会その他活動	3 4	20.0%	2	13.3%	15 19	100.0% 100.0%
学術教育+集会その他活動 交流+集会その他活動 芸術+学術教育+交流	3 4 2	20.0% 21.1% 22.2%	2 4 0	13.3% 21.1% 0.0%	15 19 9	100.0% 100.0% 100.0%
学術教育+集会その他活動 交流+集会その他活動 芸術+学術教育+交流 芸術+学術教育+集会その他活動	3 4 2 3	20.0% 21.1% 22.2% 75.0%	2 4 0 0	13.3% 21.1% 0.0% 0.0%	15 19 9 4	100.0% 100.0% 100.0% 100.0%

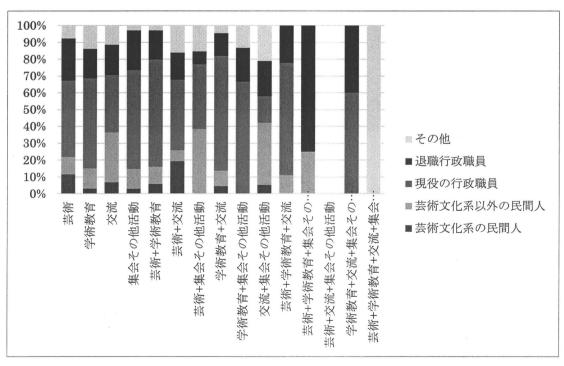


図 15 施設類型と館長の種別

施設類型と指定管理者

指定管理者制度導入の有無

表 9 指定管理者制度導入の有無

	l	il)	しい	ハえ	í	今計
芸術	115	61.8%	71	38.2%	186	100.0%
学術教育	75	43.6%	97	56.4%	172	100.0%
交流	31	66.0%	16	34.0%	47	100.0%
集会その他活動	13	37.1%	22	62.9%	35	100.0%
芸術+学術教育	25	34.7%	47	65.3%	72	100.0%
芸術+交流	20	62.5%	12	37.5%	32	100.0%
芸術+集会その他活動	11	84.6%	2	15.4%	13	100.0%
学術教育+交流	8	36.4%	14	63.6%	22	100.0%
学術教育+集会その他活動	1	6.3%	15	93.8%	16	100.0%
交流+集会その他活動	14	73.7%	5	26.3%	19	100.0%
芸術+学術教育+交流	2	22.2%	7	77.8%	9	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	3	75.0%	1	25.0%	4	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	3	60.0%	2	40.0%	5	100.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%

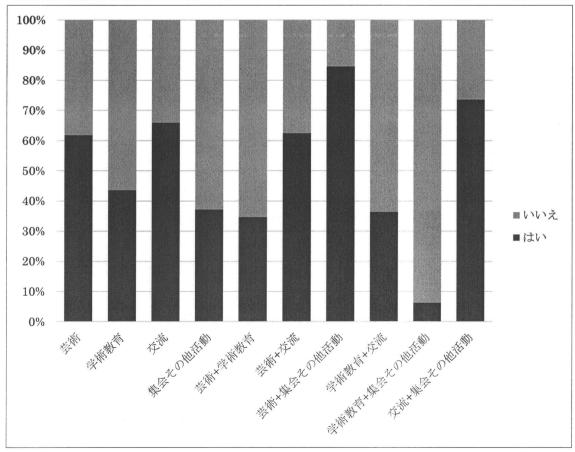


図 16 指定管理者制度導入の有無

指定管理者募集方法

表 10 指定管理者募集方法

	公	募	非么	公募		合計
芸術	53	45.7%	63	54.3%	116	100.0%
学術教育	36	48.0%	39	52.0%	75	100.0%
交流	21	70.0%	9	30.0%	30	100.0%
集会その他活動	9	69.2%	4	30.8%	13	100.0%
芸術+学術教育	13	52.0%	12	48.0%	25	100.0%
芸術+交流	11	55.0%	9	45.0%	20	100.0%
芸術+集会その他活動	4	36.4%	7	63.6%	11	100.0%
学術教育+交流	1	12.5%	7	87.5%	8	100.0%
学術教育+集会その他活動	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%
交流+集会その他活動	11	78.6%	3	21.4%	14	100.0%
芸術+学術教育+交流	2	100.0%	0	0.0%	2	100.0%
芸術+学術教育+集会その他活動	3	100.0%	0	0.0%	3	100.0%
芸術+交流+集会その他活動	-0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学術教育+交流+集会その他活動	1	33.3%	2	66.7%	3	100.0%
芸術+学術教育+交流+集会その他活動	1	100.0%	0	0.0%	1	100.0%

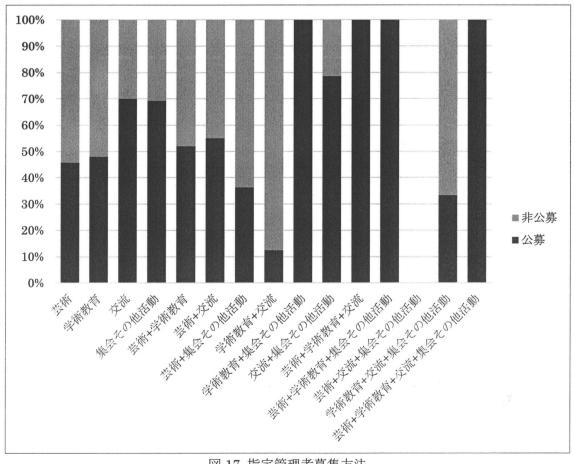


図 17 指定管理者募集方法